

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第5週 > 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-7

< インフルエンザ >

第5週の定点当たり報告数は全国レベルで30.1となり、前週より減少した



病原体情報
P.8-11

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン



速報
P.12-15

細菌性赤痢 - 2005年(2006年1月26日現在)



海外感染症情報
P.16-18

イラクでの鳥インフルエンザ発生状況 / ナイジェリアでの鳥インフルエンザ発生状況 / 中国での鳥インフルエンザ発生状況 / スーダンでの髄膜炎菌感染症流行 / ウガンダでの髄膜炎菌性疾患流行



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(5週)
P.20-26



5週のデータ
P.27-38



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第5週コメント> 2月9日集計分

全数報告の感染症

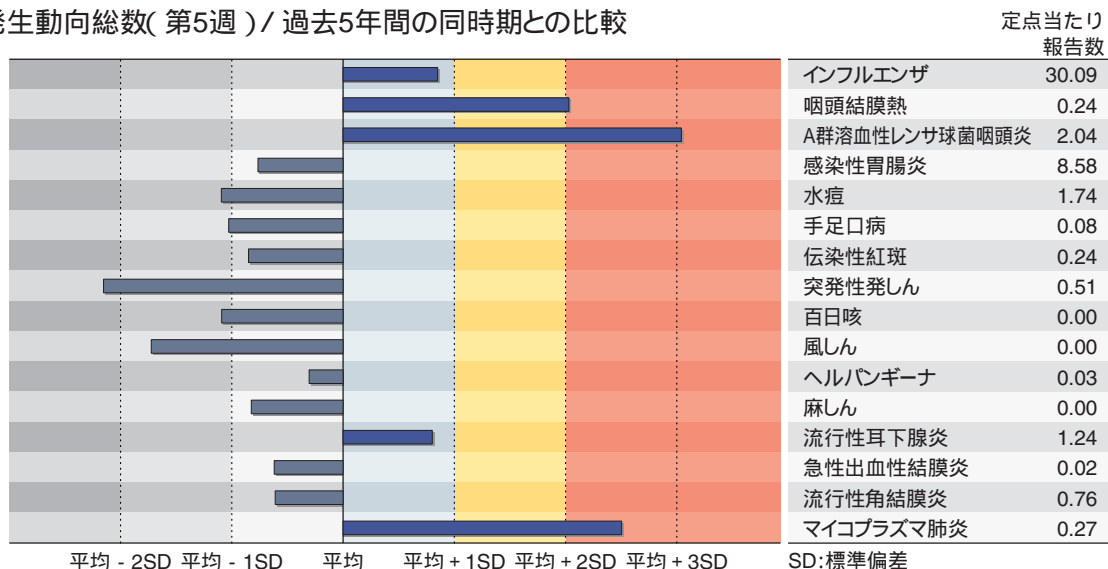
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 1例(推定感染地域: 国内)
 - 細菌性赤痢 6例
 - (推定感染地域: 国内1例、マレーシア/シンガポール2例、インドネシア1例、マリ1例、イエメン1例)
 - 腸チフス 1例(推定感染地域: パキスタン)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 4例(うち有症者3例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(2例)、O26 VT1(1例)、不明1例
 - 4類感染症: レジオネラ症 7例(50代1例、60代2例、70代2例、80代2例)
 - A型肝炎 6例(推定感染地域: 国内5例、パキスタン1例)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 8例(うち、1例死亡)
 - 推定感染地域: 国内7例、韓国1例
 - 推定感染経路: 経口2例、性的接触(同性間)1例、経口/性的接触(異性間)1例、不明4例
 - ウイルス性肝炎 1例〔B型_推定感染経路: 性的接触(同性間)〕
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(20代、死亡)
 - 後天性免疫不全症候群 10例(無症候7例、AIDS 3例)
 - 推定感染経路: すべて性的接触(異性間2例、同性間8例)
 - 推定感染地域: 国内9例、その他1例
 - 梅毒 5例
 - (早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、晩期顕症1例、無症候1例)
 - 急性脳炎 4例
 - [すべてA型インフルエンザウイルス(1歳1例、4歳2例、5歳1例)]
- (補)他に、2006年分の報告遅れとして、エキノコックス症1例(北海道)、オウム病1例(推定感染源: 鳥)、クリプトスポリジウム症1例(推定感染地域: 中国)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第5週)/過去5年間の同時期との比較



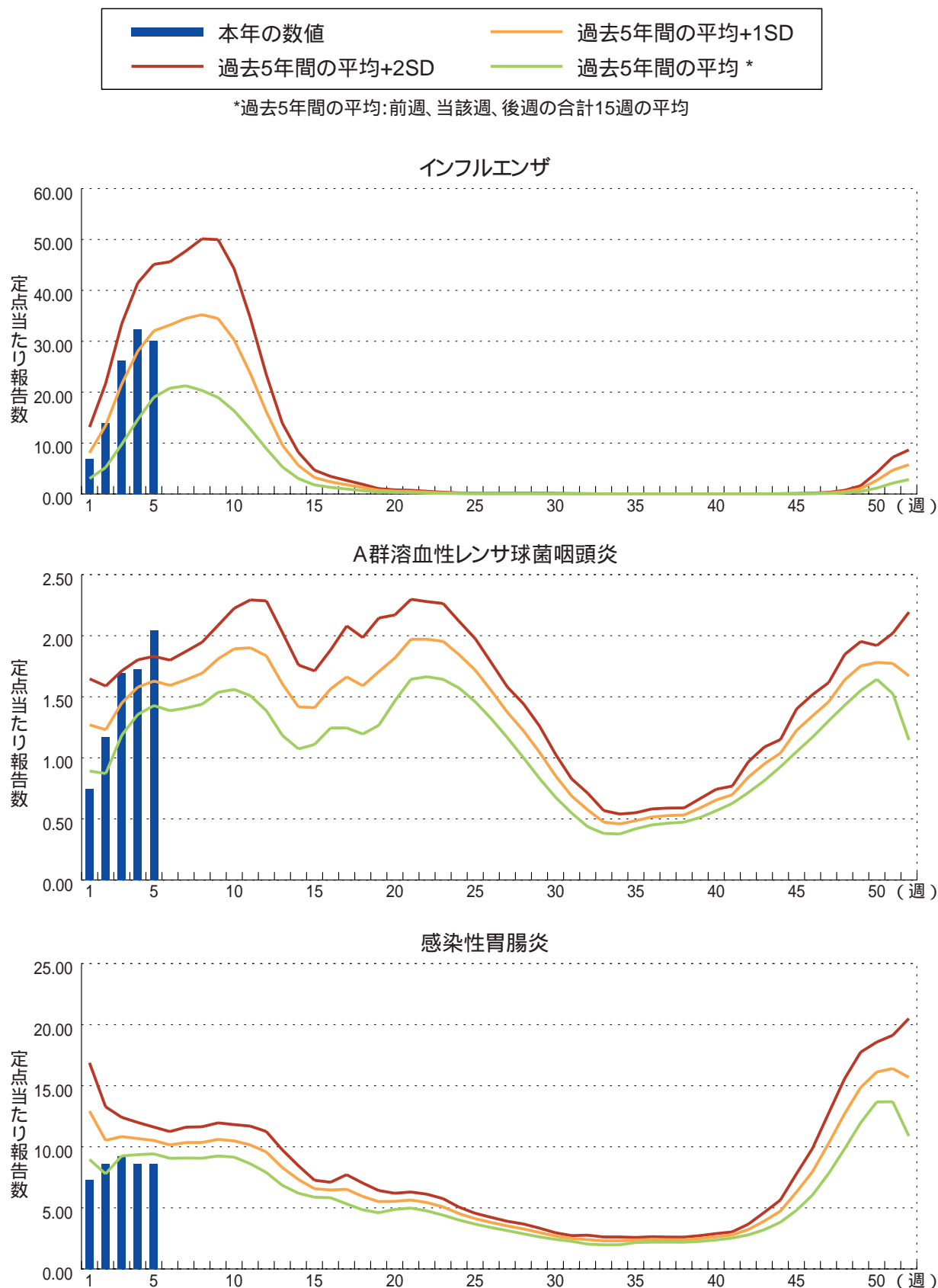
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では愛知県(53.9)、福井県(49.8)、埼玉県(45.1)、愛媛県(44.7)、三重県(41.6)、富山県(40.7)、静岡県(40.0)が多い。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では佐賀県(1.09)、島根県(0.91)、福井県(0.82)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第1週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山形県(5.4)、新潟県(4.6)、石川県(3.6)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では大分県(16.1)、福井県(15.3)、山口県(14.7)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(4.0)、山口県(3.8)、愛媛県(3.2)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では佐賀県(0.35)、熊本県(0.35)、秋田県(0.32)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では青森県(1.4)、島根県(1.3)、鳥取県(1.1)、福島県(1.0)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では徳島県(0.04)、奈良県(0.03)、大分県(0.03)、宮崎県(0.03)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では島根県(0.04)、高知県(0.03)、沖縄県(0.03)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では長崎県(0.02)、鹿児島県(0.02)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(4.8)、長野県(3.9)、島根県(3.3)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて41都道府県から418例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では青森県(1.8)、岡山県(1.8)、福島県(1.7)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1~5週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

第5週のインフルエンザの定点当たり報告数は全国レベルで30.1(報告数141,222)となり、前週より減少した(図1)。都道府県別では愛知県(53.9)、福井県(49.8)、埼玉県(45.1)、愛媛県(44.7)、三重県(41.6)、富山県(40.7)、静岡県(40.0)、長野県(38.3)、石川県(37.9)、千葉県(37.6)が多い。定点当たり報告数が30.0を超えている県は21県あり、40.0を超えているのは7県となっている(図2)。

全国レベルでの報告は減少し、注意報レベルのみを超えている保健所数も206(41都道府県)と減少したが、逆に警報レベルを超えている保健所数は313(44都道府県)と増加した(感染症情報センターホームページ「インフルエンザ流行レベルマップ」第5週参照)。

2005年第36週～2006年第5週の累積報告数は574,684であり、年齢別では5～9歳が167,797(29.2%)で最も多く、次いで0～4歳が148,986(25.9%)であり、14歳以下が全体の68.9%を占めている(図3)。

今シーズンは2005年第36週以降これまでに、1,479件のインフルエンザウイルスの分離報告があり、そのうちAH1型は223件(15.1%)、AH3型は1,238件(83.7%)、B型は18件(1.2%)であった(図4)。

全国レベルでのインフルエンザの発生は第5週に入って減少がみられたが、まだ流行は継続しており、その発生動向の推移には引き続き注意が必要である。

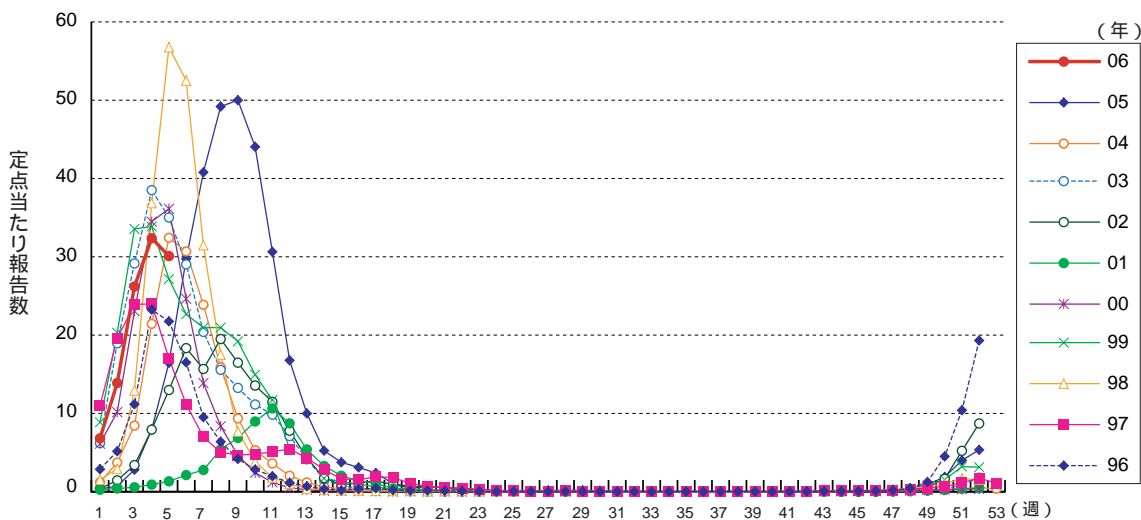


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1996年～2006年第5週)

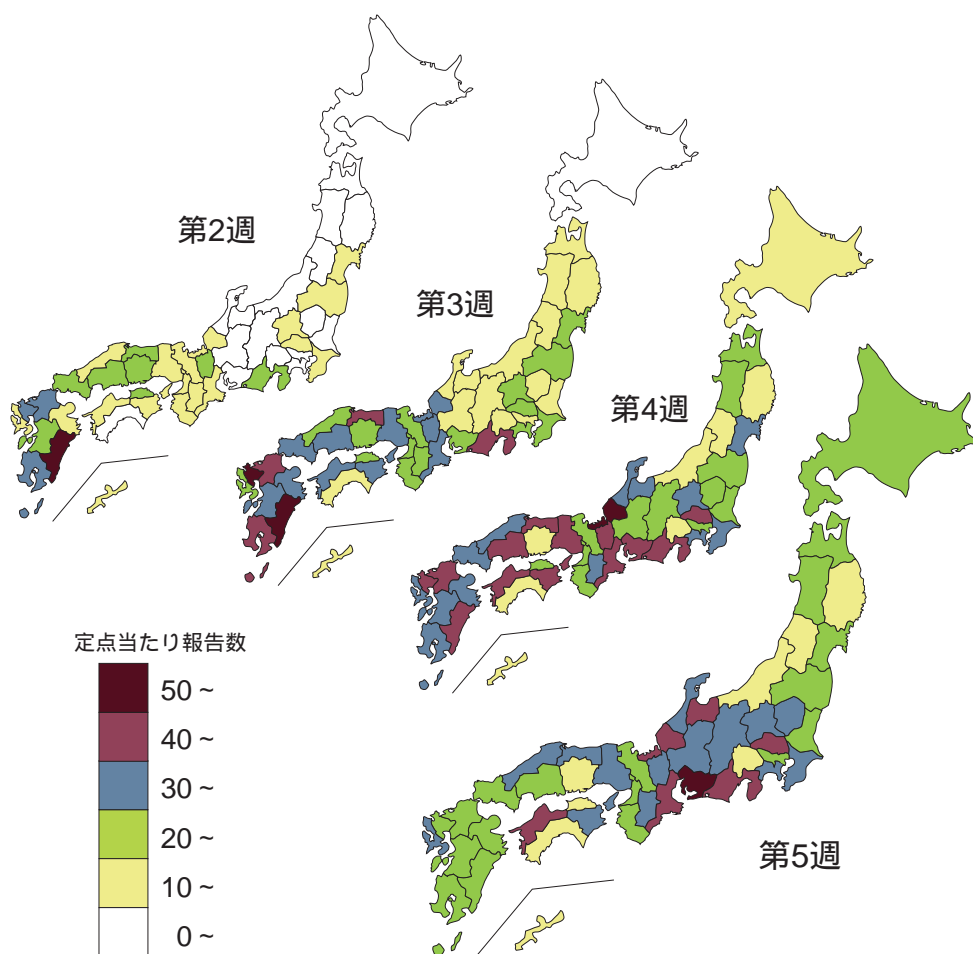
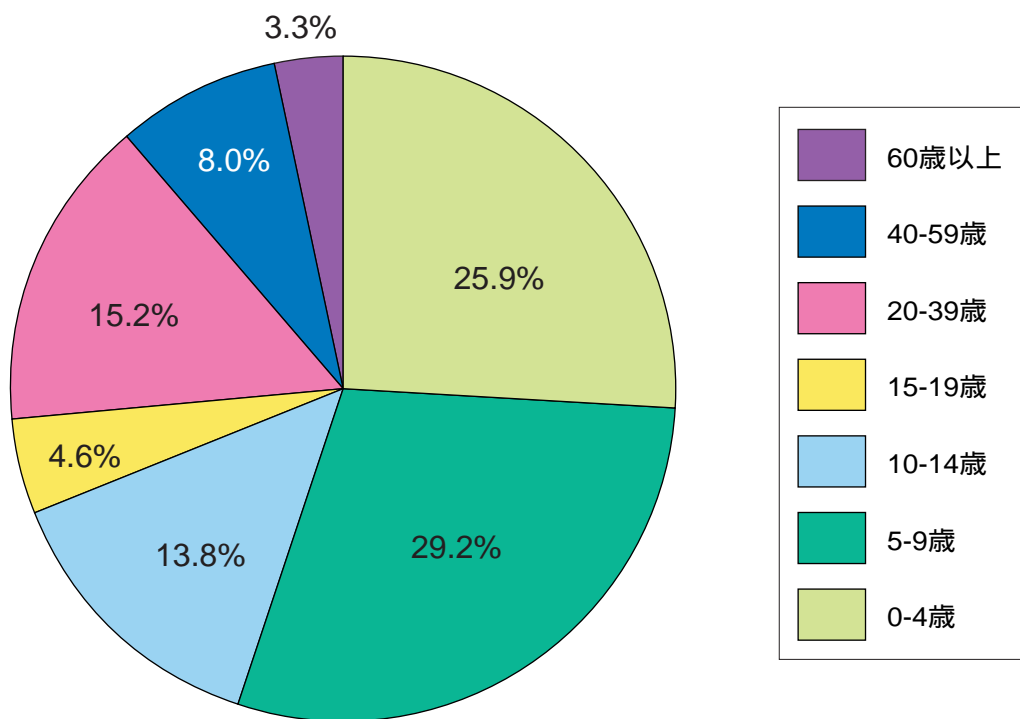
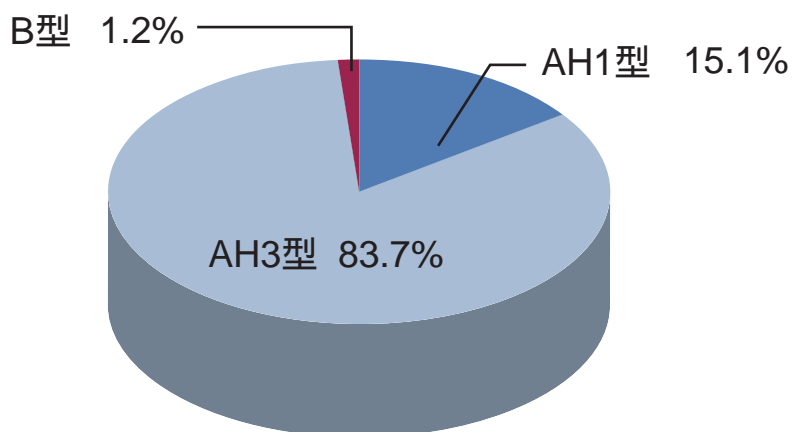


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(第5週現在)



(総報告数 = 574,684)

図3. 2005/06シーズンのインフルエンザ報告症例の年齢別割合
(2005年第36週～2006年第5週)



(総分離報告数=1,479)

図4. 2005/06シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離結果
(2005年第36週～2006年第5週)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2006年2月10日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン

今シーズンは前シーズンに比べ、ウイルス分離報告の立ち上がりが早い。

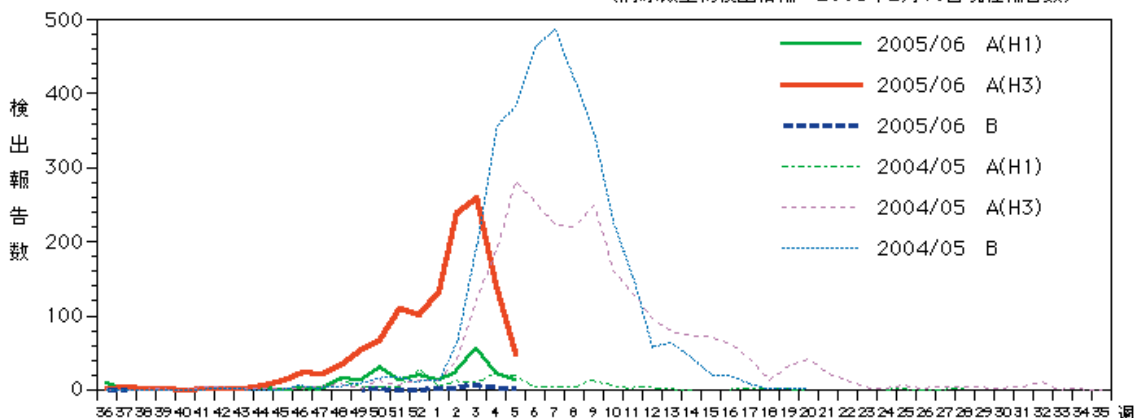
AH3型は2005年第45週以降、全国各地からの報告が増加しており、2005年第36週からの累計では、43都道府県から計1,238件の分離が報告されている(この他、PCRで佐賀県19件、東京都、京都府各2件、山形県1件、LAMPで神戸市5件検出)。

AH1型は2005年第48週以降、報告が増加しており、2005年第36週からの累計では、31都道府県から223件が報告されている(この他、PCRで東京都6件、佐賀県1件、LAMPで神戸市1件検出)。

B型は2005年第50週に神奈川県と大阪府から各1件、第1～5週に高知県4件、岐阜県、静岡県各3件、埼玉県、石川県各2件、神奈川県、大阪府各1件、計18件の分離が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離 - 検出報告数の推移、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報: 2006年2月10日現在報告数)

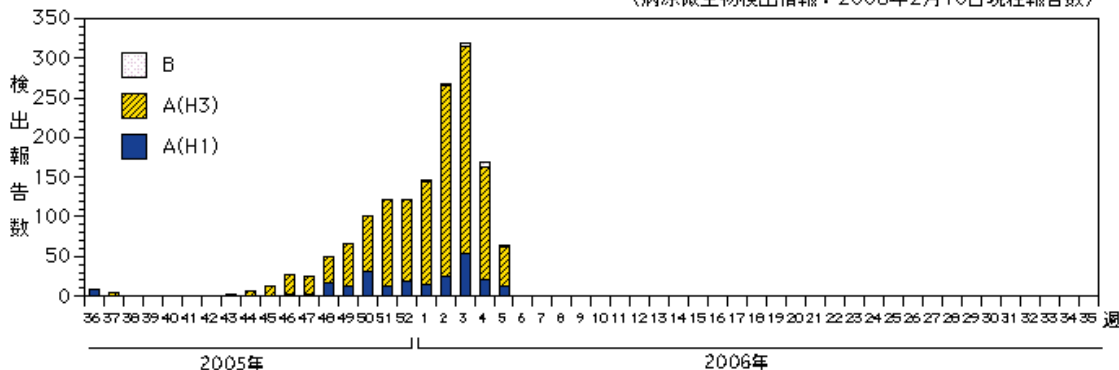


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を圖に示した。



週別インフルエンザウイルス分離 - 検出報告数、2005/06シーズン

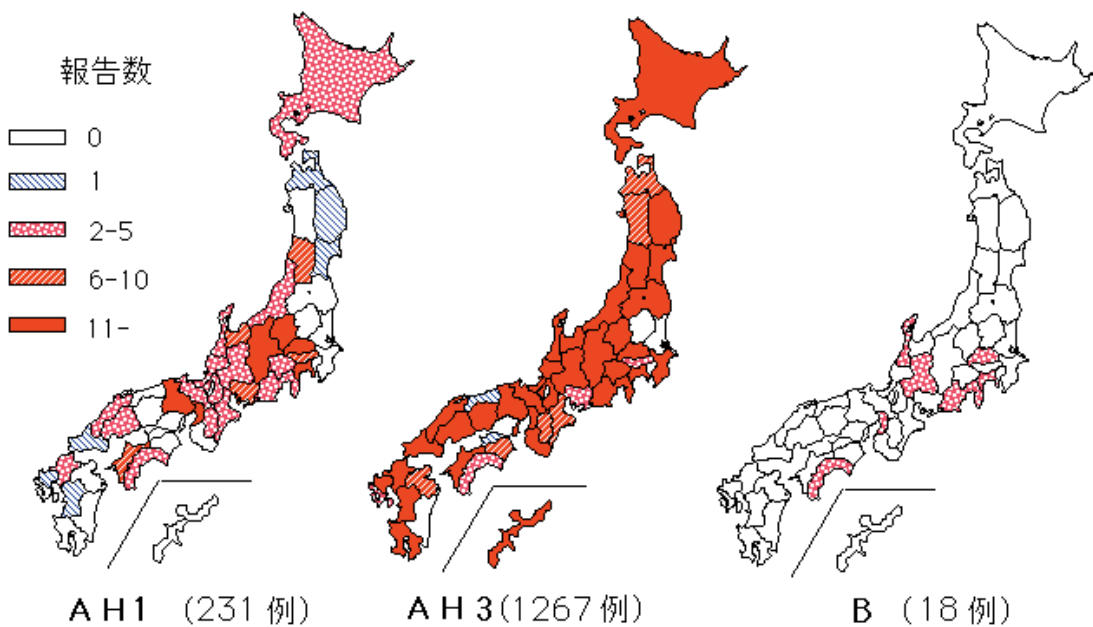
(病原微生物検出情報: 2006年2月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を圖に示した。



都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2005/06シーズン
 (病原微生物検出情報：2006年2月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した。



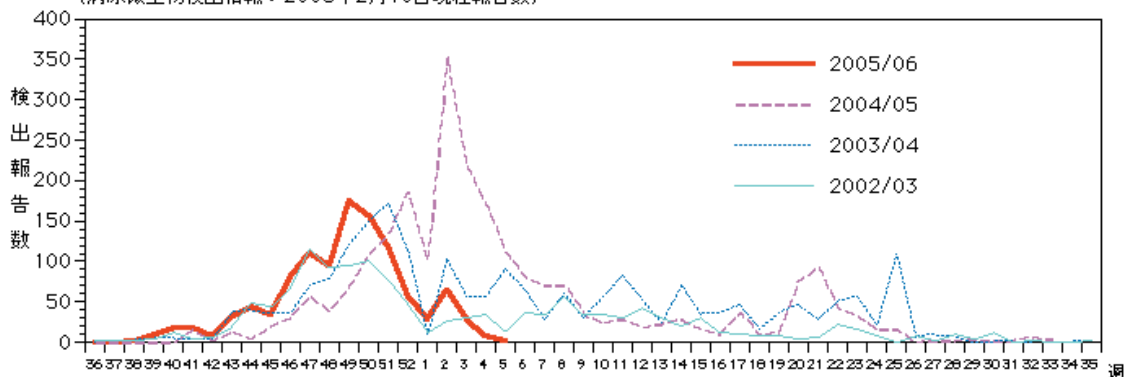
Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン

今シーズンは前シーズンより早くノロウイルスgenogroup IIの検出が増加しており、2005年第37週～2006年第5週に岩手県148件、大阪府133件、秋田県、滋賀県各84件など、31府県から計986件報告されている。また、genogroup Iの検出が愛媛県13件など、11府県から計25件報告されている。この他、genogroup unknownの検出が東京都43件、奈良県11件、鳥取県5件、計59件報告されている。

サポウイルスは2005年第46週～2006年第3週に愛媛県18件、熊本県5件、大阪府3件、宮城県2件、三重県1件、計29件検出され、A群ロタウイルスは2005年第43週～2006年第5週に福井県、大阪府各5件など、17都府県から計39件検出されている。

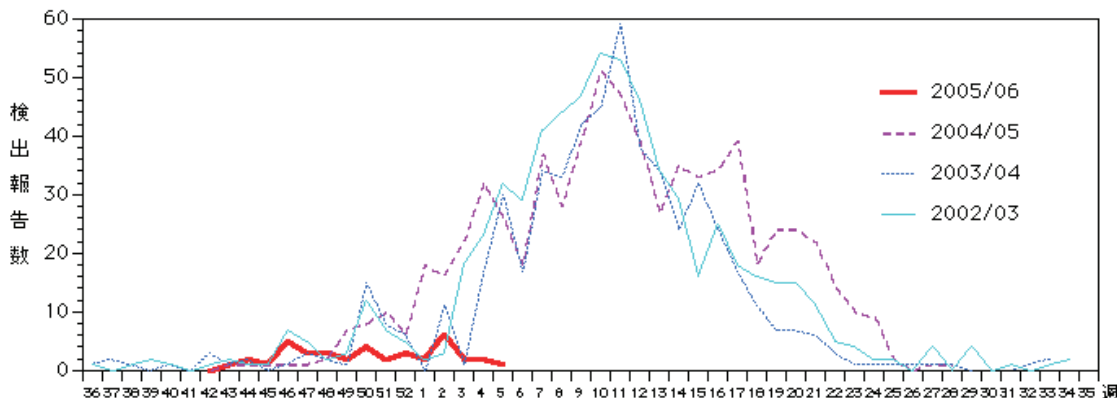
週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去3シーズンとの比較 (2002/03-2005/06)
(病原微生物検出情報：2006年2月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



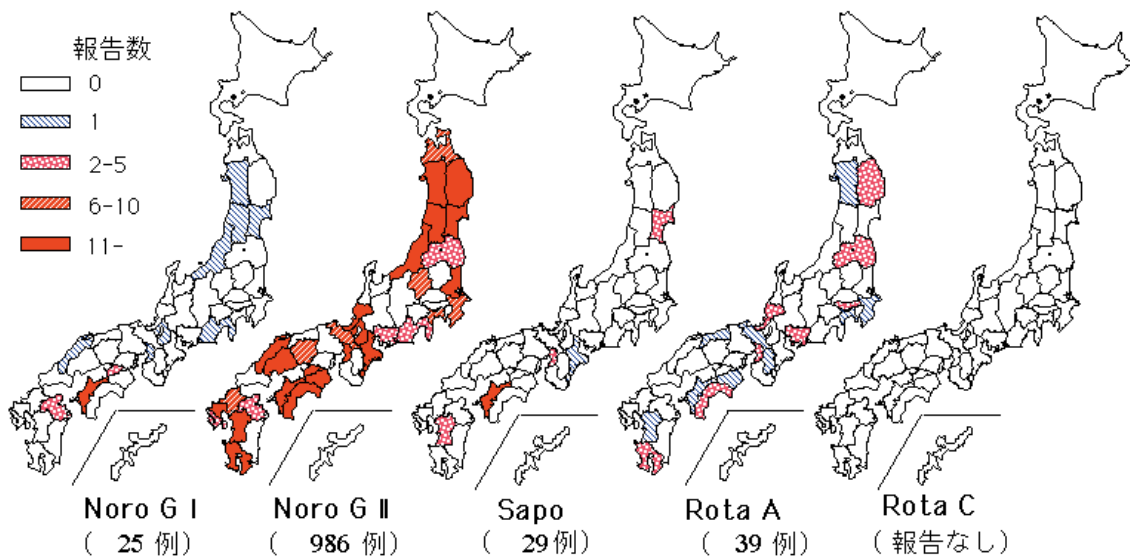
週別ロタウイルスの検出報告数、過去3シーズンとの比較 (2002/03～2005/06)
(病原微生物検出情報：2006年2月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2005/06シーズン
 (病原微生物検出情報：2006年2月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



細菌性赤痢 - 2005年(2006年1月26日現在)

細菌性赤痢は通常1～3日の潜伏期の後に、全身倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱で発症し、発熱が1～2日続いた後、水様性下痢、腹痛、しぶり腹、膿粘血便などのいわゆる赤痢症状が出現する腸管感染症である。原因菌は*Shigella*属の4つの菌種(*S. dysenteriae*、*S. flexneri*、*S. boydii*、*S. sonnei*)である。菌種は亜群とも呼ばれ、それぞれA群、B群、C群、D群に該当する。通常、*S. dysenteriae*、*S. flexneri*は典型的な赤痢症状を起こすことが多いが、*S. sonnei*では軽度の下痢、あるいは無症状で経過することが多い。

細菌性赤痢は1999年4月1日施行のいわゆる感染症法に基づく二類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届け出が義務づけられている。過去の年間累積報告数は2000年843例、2001年844例、2002年699例、2003年473例、2004年594例であったが、2005年の報告数(診断日が2005年第1～52週のもので、2006年1月26日までに報告されたもの)は557例であった。それらのうち疑似症患者が13例あり、無症状病原体保有者は42例であった。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者や、接触者の調査などによって発見された者である。

疑似症を除く544例については、性別では男性260例、女性284例で、年齢は1～94歳(中央値32歳)であった。推定感染地域は国内121例、国外412例、不明11例であった。死亡例の報告が1例(80代)あった。

国内を推定感染地域とする121例については、性別では男性52例、女性69例で、年齢群別にみると、10歳未満23例、10代5例、20代9例、30代24例、40代15例、50代13例、60代13例、70歳以上19例(年齢中央値39歳)で、他の年齢群に比し10代および20代がやや少なかった(図1)。発症月別にみると(発症日が不明の1例を除く)3月に発症したものが26例と多かったが(図2)このうち18例は、愛知県の福祉施設での集団発生に関連した報告であった。この集団発生では、無症状病原体保有者21例も報告されている。都道府県別にみると29都道府県から報告があり、愛知県(48例)、東京都(8例)、宮城県(7例)、広島県(7例)が多かった。検出された菌種は、*S. sonnei* 98例、*S. flexneri* 19例、*S. boydii* 3例、*S. dysenteriae* 1例であった(図3)。

国外を推定感染地域とする412例については、性別では男性202例、女性210例で、年齢群別にみると、10歳未満8例、10代14例、20代161例、30代111例、40代39例、50代34例、60代38例、70歳以上7例(年齢中央値31歳)であり、特に20代および30代が多く、全体の66%を占めていた(図1)。発症月別にみると、9月、3月、8月、7月の順に多く、長期休暇を反映していた(図2)。また、推定感染国別にみると(複数回答あり)インド113例、インドネシア64例、ベトナム49例、フィリピン36例の順に多く、アジアで多い傾向は従来通りであった。また、検出された菌種は、*S. sonnei* 325例、*S. flexneri* 71例、*S. boydii* 12例、*S. dysenteriae* 4例であった(図3)。表には、それらの菌種を地域毎、国毎に分けて示した。

予防の基本は感染経路の遮断であり、特に手洗いの励行は予防の基本である。また、流行地へ渡航する場合には生水、氷、生の魚介類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。また、特に小児や高齢者では重症化しやすいので注意が必要である。

なお、細菌性赤痢はサルの間にも感染がみられ、ヒトへの感染源となり得るため、2004年10月1日施行の感染症法施行令の改正により、細菌性赤痢のサルを診断した獣医師に届け出が義務づけられた。2004年には報告がなく、2005年(2006年1月26日現在)には5都道府県から37例の報告があった。これらのサルはすべて実験動物として輸入され、検疫(法定検疫及び自主検疫を含む)によって発見されたものである。

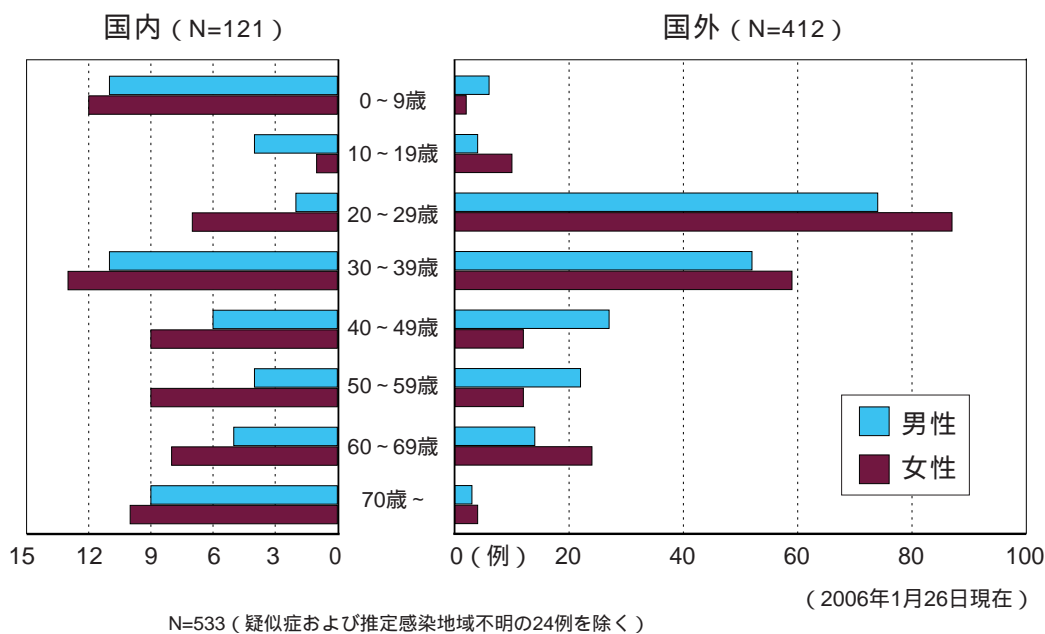


図1. 性別・年齢群別・推定感染地域別にみた細菌性赤痢の報告 (2005年)

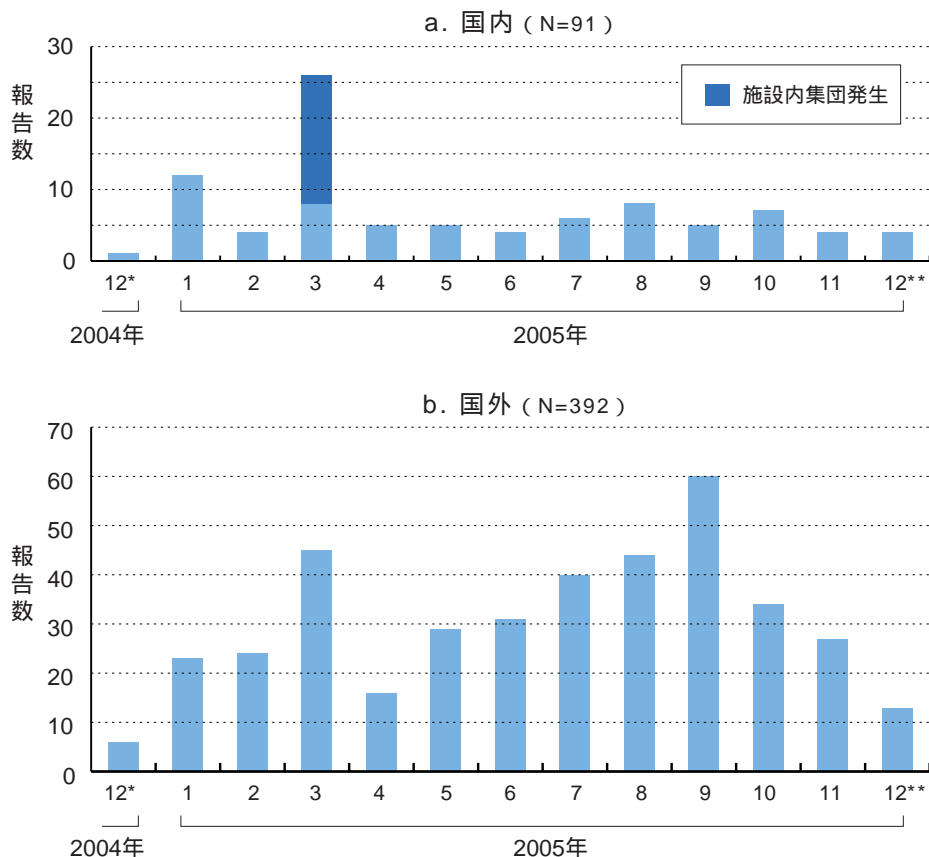
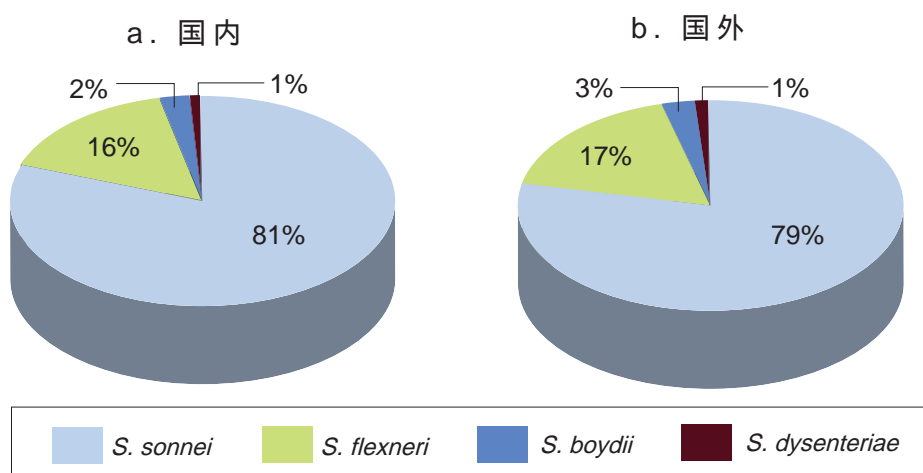


図2. 発症月別・推定感染地域別にみた細菌性赤痢の報告 (2005年)

疑似症、無症状病原体保有者、発症月不明および推定感染地域不明の74例を除く

* 2005年1月以降に診断された症例

**2006年1月以降に診断された症例を除く



(補) 推定感染地域不明の11例は、*S. sonnei* 7例、*S. flexneri* 4例

図3. 推定感染地域別にみた細菌性赤痢の菌種 (2005年)

表. 国外を推定感染地域とする細菌性赤痢における4菌種の地域別・国別報告数 (N=412)

地域・国名		<i>S. sonnei</i> (N=325)	<i>S. flexneri</i> (N=71)	<i>S. boydii</i> (N=12)	<i>S. dysenteriae</i> (N=4)
アジア	アジア計	278	55	11	3
	インド	76 (81)	20 (22)	7 (8)	2
	インドネシア	58	5	1	
	カンボジア	8 (12)	7 (10)		0 (1)
	シンガポール	0 (1)			
	タイ	12 (15)	3 (1)	1	0 (1)
	台湾	1			
	タヒチ	1			
	中国	17	4		
	ネパール	8 (10)	1 (2)	1 (2)	
	パキスタン	7 (8)	1 (2)		
	バングラデシュ		3		
	フィリピン	32	3 (4)		
	ブルネイ		0 (1)		
	ベトナム	40 (44)	2 (5)		
	マレーシア	2			
	ミャンマー	4			
モンゴル	2				
ラオス	1				
北中南米	北中南米計	16	10	0	0
	アメリカ	0 (1)			
	アルゼンチン		0 (1)		
	キューバ	1			
	グアテマラ	1			
	ブラジル		0 (1)		
	ペルー	6	7 (8)		
メキシコ	7 (8)	2			
欧州	欧州計	3	0	0	0
	ウズベキスタン	3			
中東	中東計	7	2	0	0
	イエメン	1			
	イラン	1			
	シリア	0 (1)	1		
	トルコ	3	1		
	ヨルダン	1 (2)			
アフリカ	アフリカ計	19	3	1	1
	エジプト	9	1		
	エチオピア	1			
	ガーナ		1		
	ケニア	3			
	スーダン	1			
	タンザニア	1			
	モロッコ	4	1	1	1
地域・国名不明		2	1	0	0

国毎の数値については、() 外の数値はその国のみを推定感染地とする報告数で、() 内の数値はその国のみを推定感染地とする報告数と、その国を含む複数国を推定感染地とする報告数との合計。



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

イラクでの鳥インフルエンザ発生状況

WHO/EPR 2006年2月7日 - 更新2

FAOからの獣医学専門家を含む、WHOが指導する国際的な専門家チームは現在、イラク北部のErbilおよびSulaimaniyah地区に滞在している。現地では2006年1月30日に、H5N1型株感染による死亡者1名が確認された。家禽における確定された高病原性H5N1型株流行は、2006年2月2日に同地区から報告された。同チームはイラクの保健省および農業省当局者と会合し、医療機関、検査機関および家禽の状況を評価している。緊急支援が必要な分野のリストが完成した。政府当局は抗ウイルス薬を含む緊急支援物資の必要性を表明しており、このような物資はすでに同国に到着し始めている。対策を調整し支援を行うため、カイロのWHO地域事務局内に24時間緊急オペレーションセンターが設置された。診断確定のための患者検体の輸送は困難に直面している。現地での検査能力を高めるための方法は、WHOリファレンスラボへの検体の送付をはかどらせる方法と共に、検討が行われている。国際チームは、現地および国立検査機関での生物学的安全性基準の改善の必要性を主張している。

現地では家禽の処分強化が進行中である。このような対策の効率を上げるために、家禽に対する診断能力の向上が必要とされる。獣医学検査機関での診断能力を強化し、サーベイランスを改善するための訓練が開始された。診断試薬を含む必須な物資供給の要望は達成されつつある。

現地では個別の家族が主体となって、家禽約130万羽が飼育されている。各戸では、収入および食糧をこの様な家禽に依存している。各家庭の困窮を軽減する補償スキーム確立のための議論が行われている。

国際チームは、可能性ある患者を検出して治療し、検体を採集し、また接触者を追跡し監視するための優れたシステムが確立していることを確認した。隔離病棟の一部の改善が計画されている。個人の感染防御と感染制御の確立のための対策を確実にするため、病院スタッフに対して強化訓練コースが組織されている。

観察のために入院した患者2名が退院したが、現地保健チームによって状態の監視が継続されている。現在、患者7名が現地の医療機関に隔離状態で、治療を受けている。このような患者の大部分は、発病した家禽との直接接触の事実があったことを報告している。

診断確定した死亡者に加えて、H5N1型株感染の可能性につき調査が行われていた患者2名が死亡した。現地の検査機関での検査で、そのうちの1人である、確定患者の39歳になるおじからの検体がH5N1型株陽性と判明した。この患者の診断は、WHOリファレンスラボによって確認されてはいない。

保健省からWHO当局に公式に、イラク南部でのH5N1型株感染の可能性ある患者1名が報告されている。2月1日に発病したH5N1型株感染地区出身の13歳男児患者は、2月5日に重症肺炎で入院し、同日死亡した。その地区では家禽の大量死は報告されていないが、患児の発病時期近くに、家族が飼育していたペットの鳥類が死亡したと報告されている。患児からの検体が採取された。保健省および同国疾病対策センターからのチームが明日、調査のためにOmara地区を訪れる予定である。

ナイジェリアでの鳥インフルエンザ発生状況

WHO/EPR 2006年2月8日

ナイジェリア北部で、家禽での高病原性H5N1型鳥インフルエンザ感染が確認されたことにより、同ウイルスはその感染域を更に拡大したことになる。これまでに得られた全ての証拠からは、同ウイルス株は鳥類からヒトへは容易には感染伝播しないことが示されているが、同ウイルス株の注意深い監視が必須である。複数の他国での経験から、H5N1型ウイルスが如何に迅速に感染拡大し、家禽に定着するかも明示されている。このウイルスによるヒトでの、稀ではあるが重篤な感染の可能性も十分に証明されている。

現在、唯一確認されたH5N1型株流行は、同国北部のKaduna州にある大規模商業的養鶏場に局限していると考えられている。約1カ月前に始まった今回の流行が、同養鶏場から個人所有の家禽へと感染拡大しているか否かを確認するため、緊急に調査が必要とされている。隣接するKano州では家禽の大量死が報告されているが、原因はまだ特定されていない。

公衆衛生上の最優先事項は、ヒトへの感染機会を減らすことである。アジアおよび他でのヒト患者の調査から、発病したり死亡した家禽と密接に接触することが、同ウイルス株へのヒトの曝露源として最も重要なものであると判明している。

ナイジェリアではアフリカの他の地域と同様に、ほとんどの農村部の家庭が収入および食糧源として、放し飼いによる家禽を所有している。家禽とヒトの密接な接触は広範囲に及ぶ。もしも、同ウイルスがナイジェリアの個人所有の家禽に感染拡大したら、ハイリスク行為(発病した家禽の屠殺、羽むしり、食肉加工、調理など)を避けるよう住民に警告するための教育(情報提供)キャンペーンが必要となるであろう。

WHOは、ナイジェリア政府からの評価チーム派遣、必要な物資の供給などの支援要請に対応する準備を完了している。ジンバブエ・ハラレのWHO地域事務局の感染症スタッフは現状を評価し、対策を計画し、他のアフリカ諸国に対するリスク評価を行うため、2月8日に緊急会議を開催した。流行調査の経験を有する専門家チームが、準備を整えている。

現在、ナイジェリアでの流行の感染源に関する明確な情報は得られていないが、同国は中央アジアからの野鳥の渡り経路上にあることが知られている。ナイジェリアでの感染事例で分離されたウイルス株の完全な核酸配列情報は、2月第2週後半に判明すると予想される。この情報によって、他国でヒト患者を生じたウイルス株との比較が可能となり、その結果は、ヒトの健康に対するリスク評価の一助となるであろう。遺伝子核酸配列情報は、今回の流行の起源についても解明の糸口となる可能性が高い。

中国での鳥インフルエンザ発生状況

WHO/EPR 2006年2月9日 - 更新3

中国衛生部は、同国で11例目となるH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者を報告した。患者は、南部にある福建省在住の26歳女性農業従事者である。1月10日に発症し、その後肺炎で入院した。現在も治療中であるが、状態は安定している。中国で発生した他の多くの患者と同様、この患者も、最近公式には家禽での鳥インフルエンザ感染が報告されていない地区で発生した。中国の確定患者11名中、7名が死亡した。患者は7カ所の省及び自治区で発生しているが、それらはAnhui, Fujian, Guangxi, Jiangxi, Hunan, Liaoning, およびSichuanである。

ヒトでの孤発症例の発生が続いていることから、H5N1型鳥インフルエンザウイルスは、中国国内の少なくとも一部地区で感染循環していることが示唆された。2005年5月以降、農業当局は、家禽における鳥インフルエンザ感染事例を全国で32件報告している。その大部分が2005年10月と11月に報告された。

2006年これまでに、家禽での感染事例3件が報告された、すなわち、1月3日に四川省から1件、1月10日に広西自治区から1件、2月8日に山西省から1件である。中国初のH5N1型感染確定患者2名は、2005年11月中旬に報告された。

スーダンでの髄膜炎菌感染症流行

WHO/EPR 2006年2月3日

2006年1月1～31日の期間に、スーダンの6州で髄膜炎菌感染症疑い患者136名と死亡者15名が報告された。2行政区域(Blue Nile州のGuliと、Kassala州のWad el Heleu)では流行閾値を超えた。ラテックス試験により、髄液1検体で髄膜炎菌血清型A群が陽性となった。ハルツームの国立公衆衛生研究所に送られたその他の検体の検査結果は、近々得られる予定である。

連邦保健省(FMOH)はUNICEF、WHO、およびNGOからなる対策委員会を設立した。WHOはFMOHに対して現地調査、流行制圧のための援助物資の供給、監視の強化、ワクチン接種の必要性についての評価などの支援を行なっている。

ウガンダでの髄膜炎菌性疾患流行

WHO/EPR 2006年2月10日

ウガンダ北東部で2005年12月28日～2006年2月3日の間に、23人の死亡者を含む301人の髄膜炎菌性疾患疑い患者が報告された。発生したのはNakapiripirit地域(患者258人、死亡者19人)とMoroto地域(患者43人、死亡者4人)であった。検査により、髄膜炎菌A群と確定された。

「髄膜炎流行制御のためのワクチン提供に関する国際協力グループ」(ICG)は、予防接種キャンペーンのために25万人分の2価ワクチンを提供し、また、患者治療のために1万人分のクロラムフェニコールを提供した。両地域で予防接種キャンペーンが開始された。隣接する5地域での疑い患者の報告については、調査が行われている。

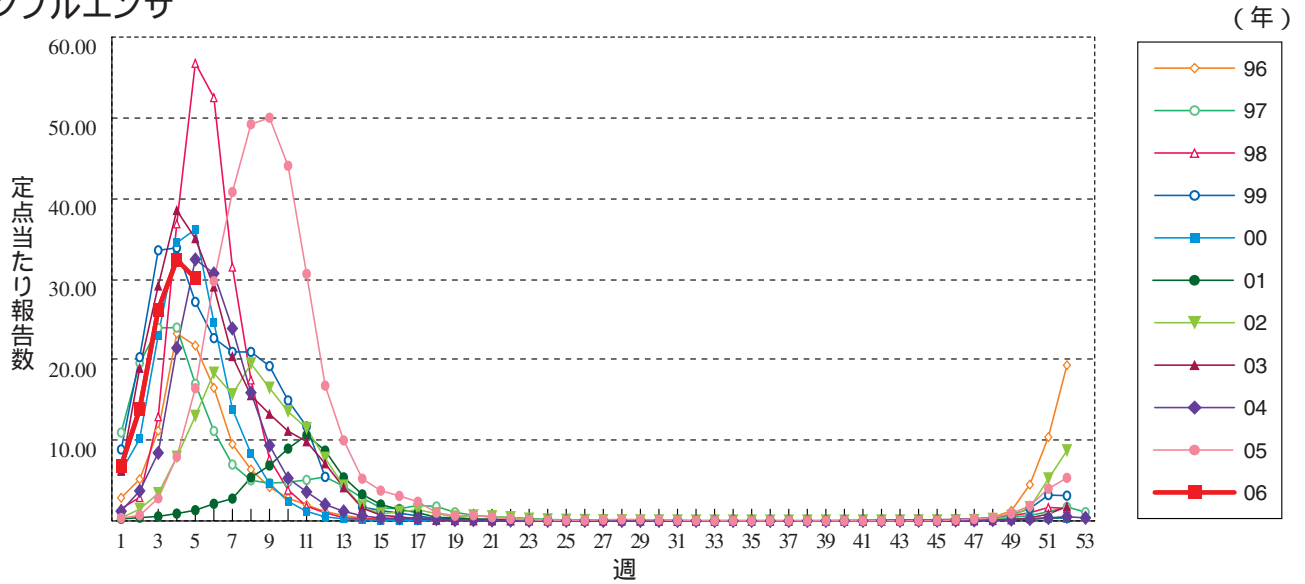


感染症の話

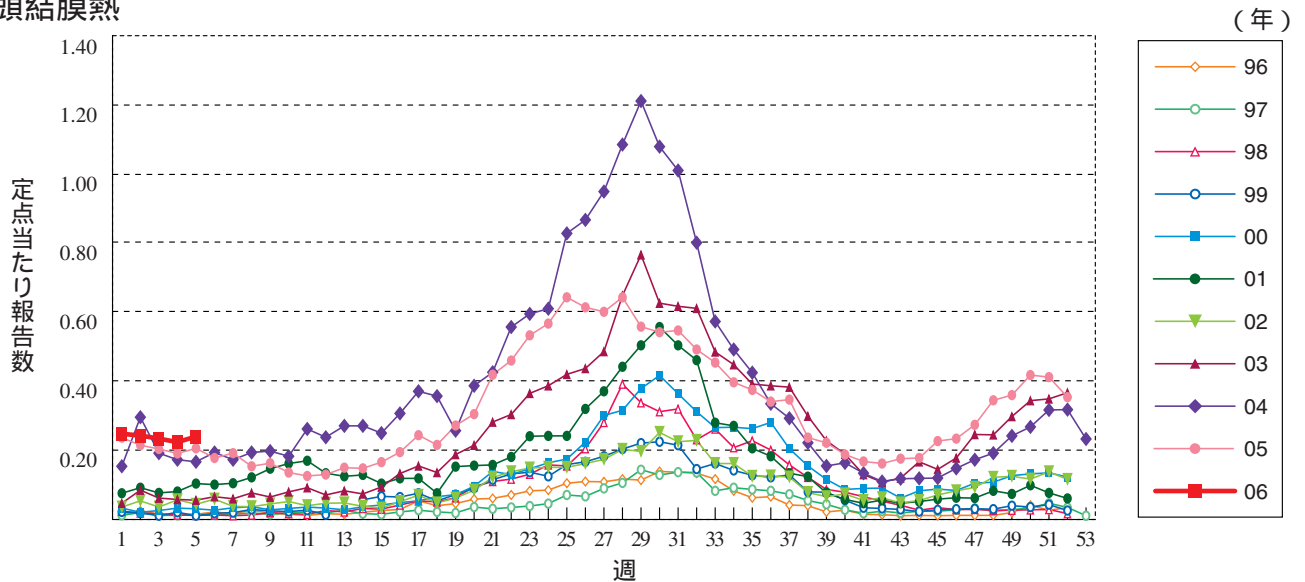
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(5週)

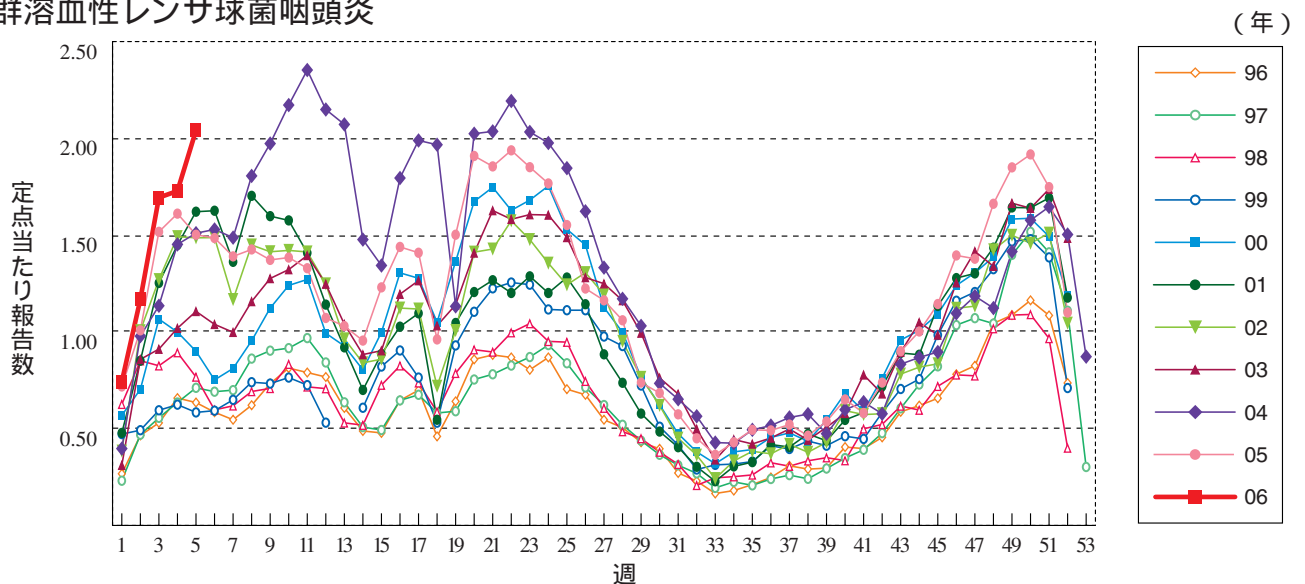
インフルエンザ



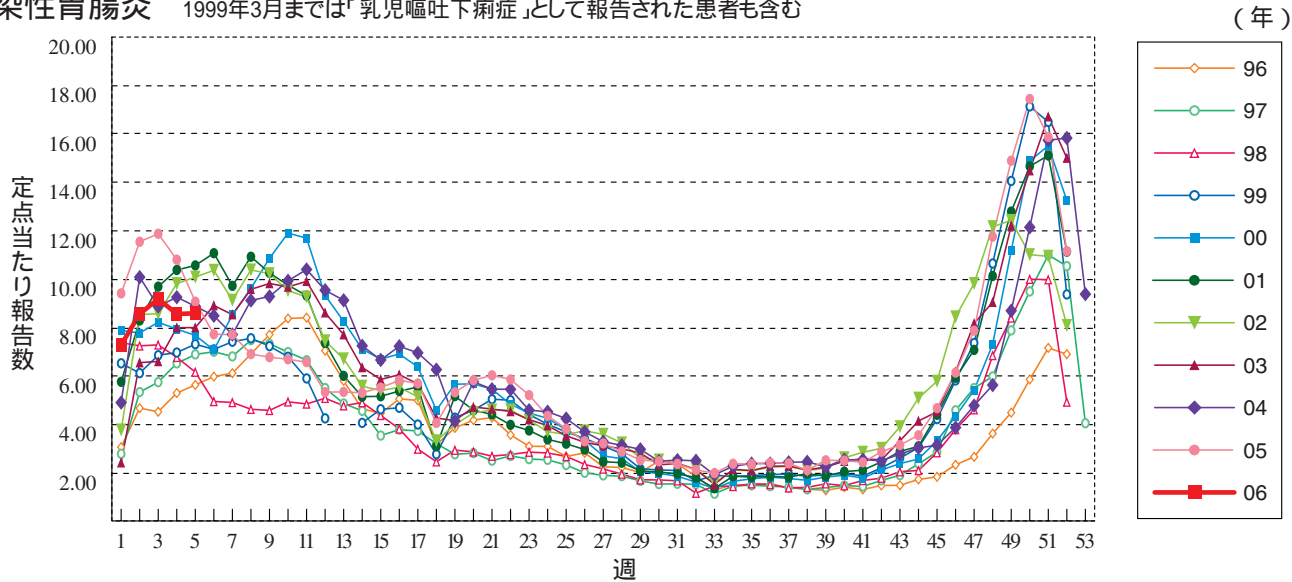
咽頭結膜熱



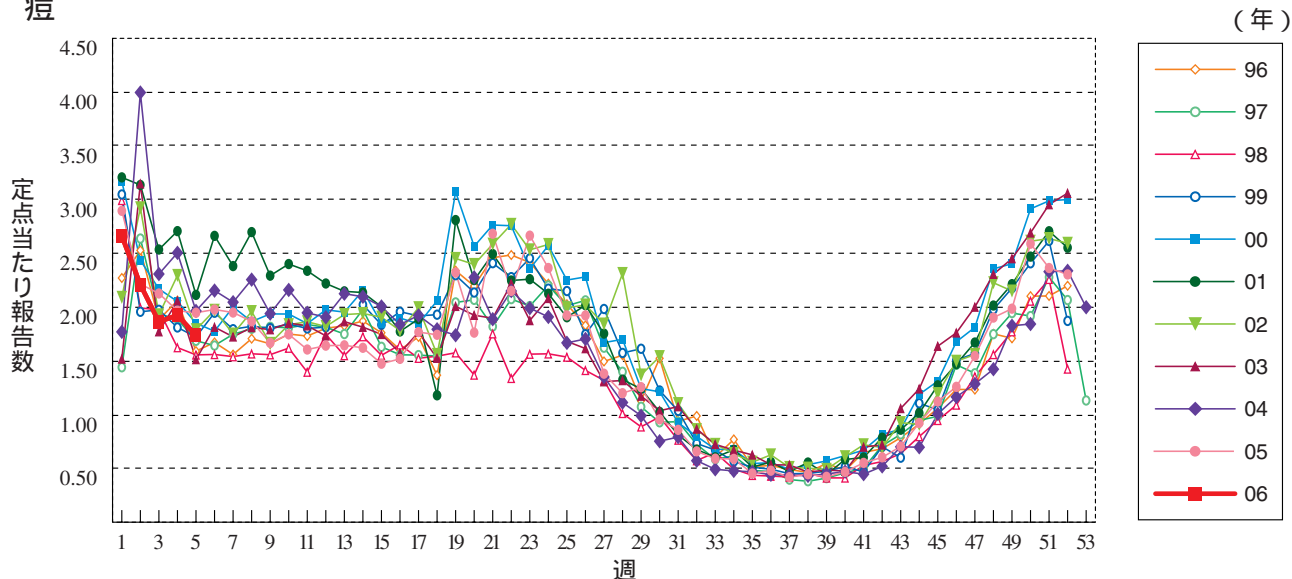
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



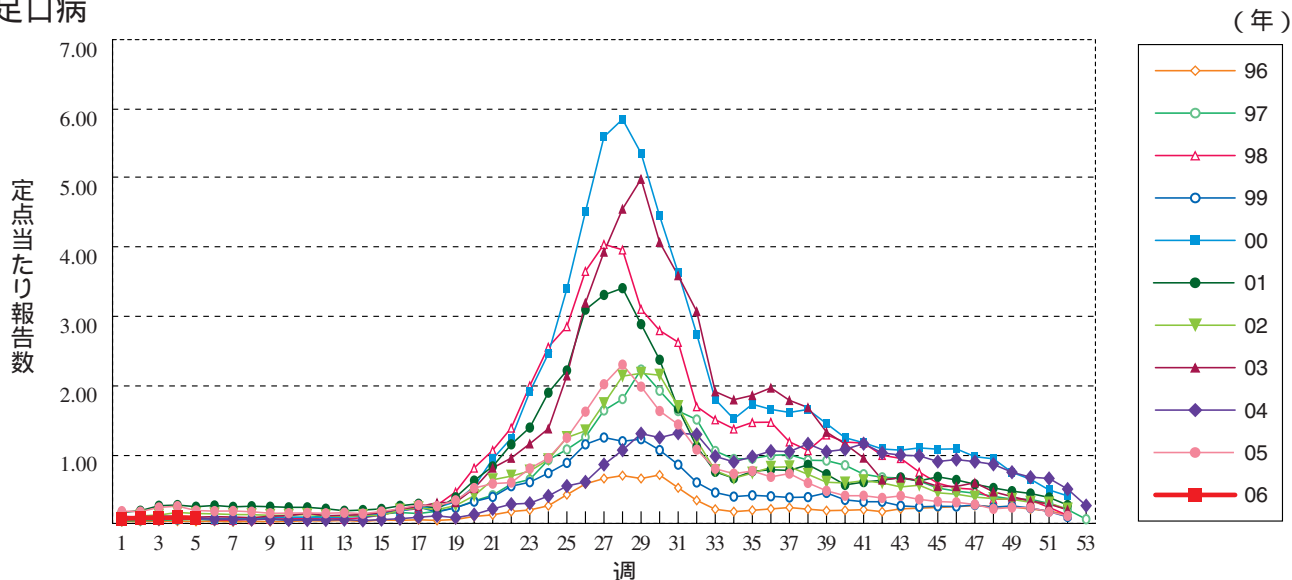
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



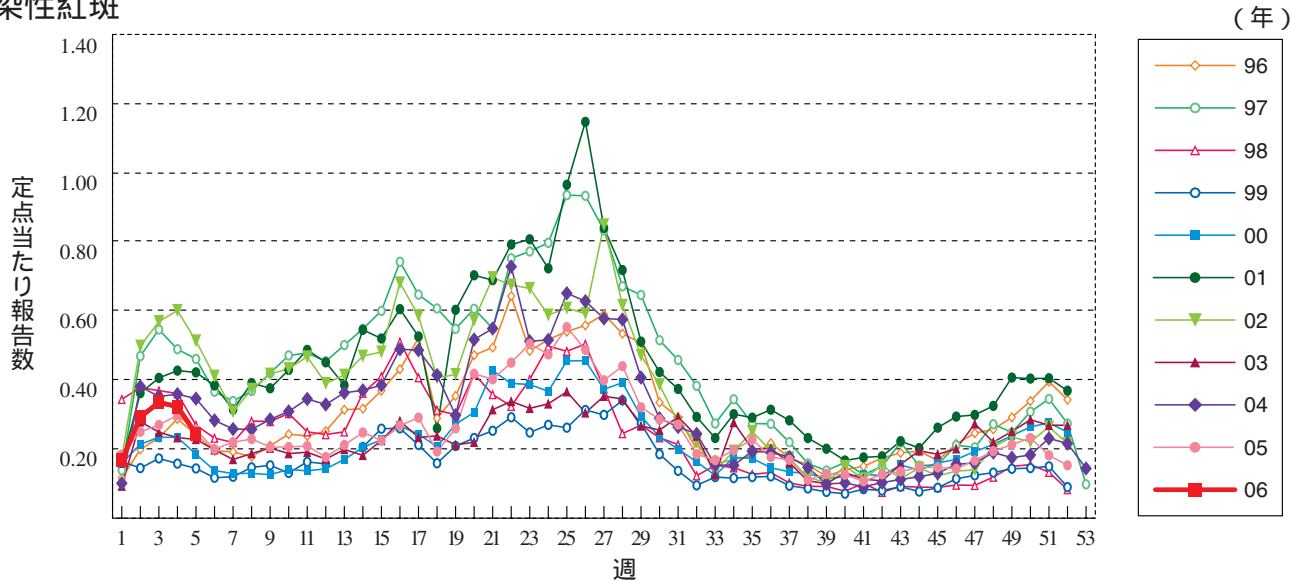
水痘



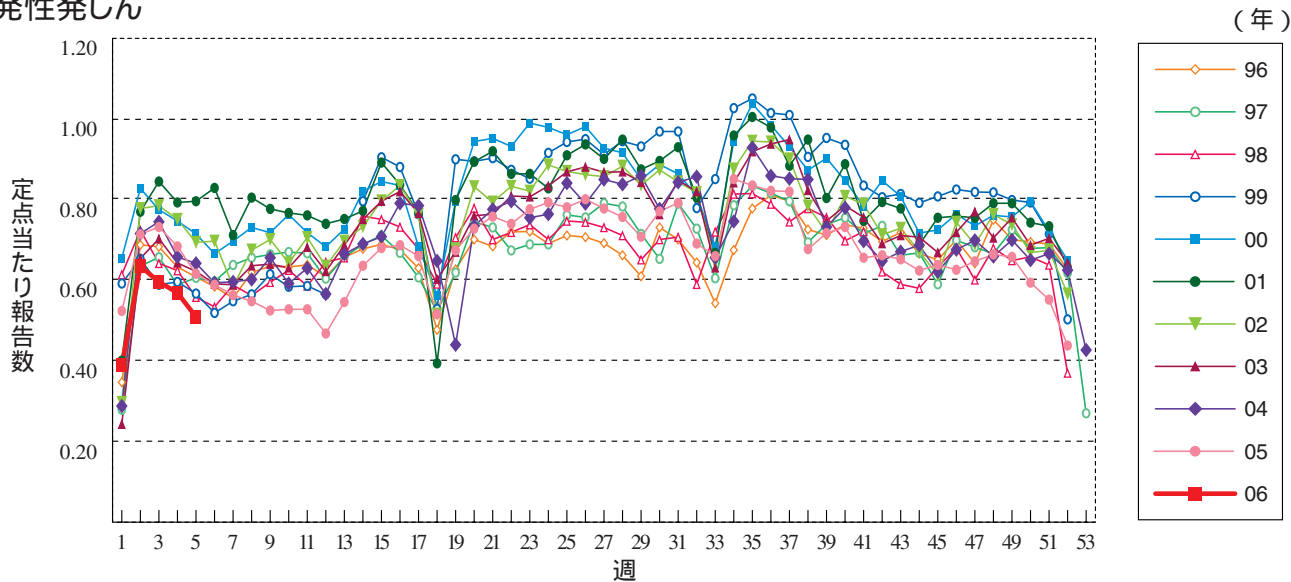
手足口病



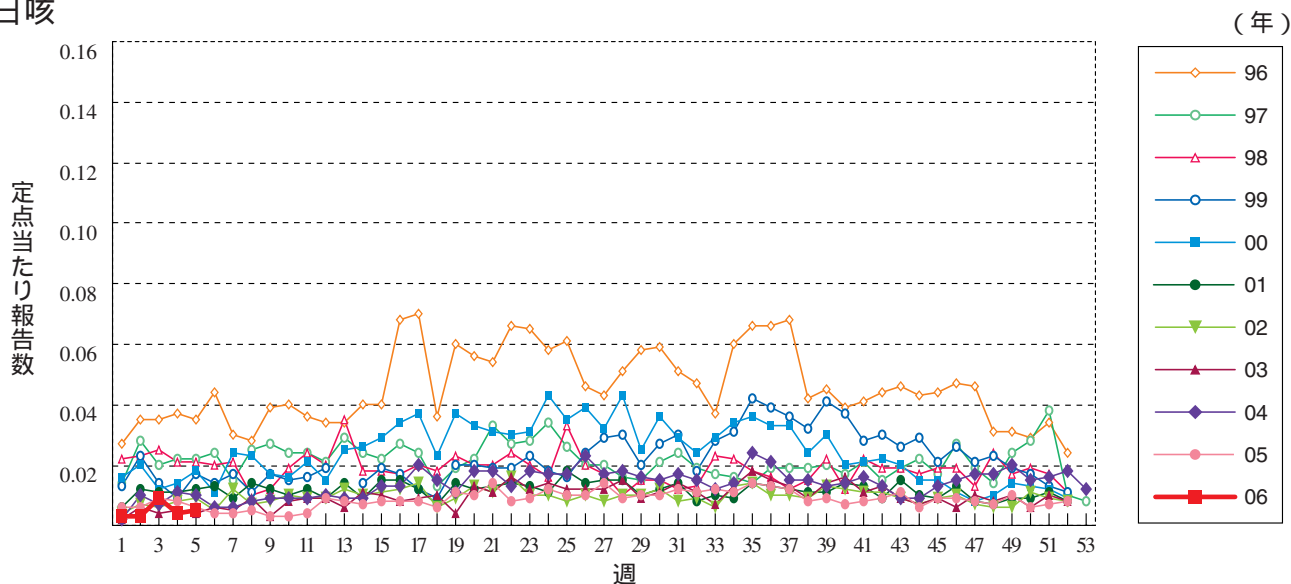
伝染性紅斑



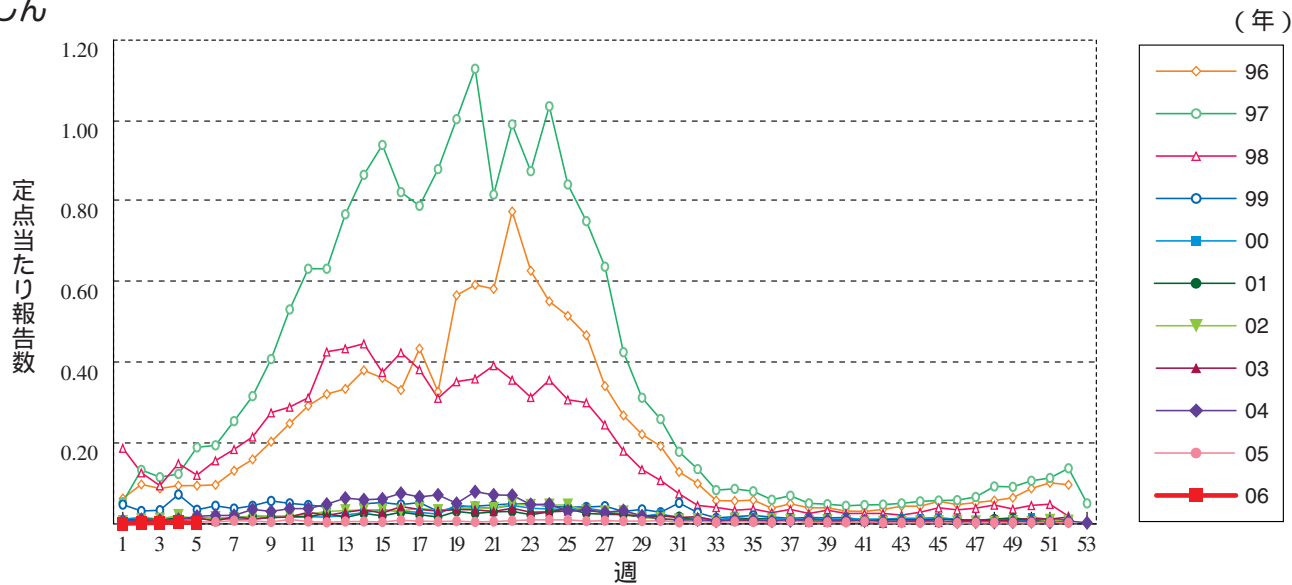
突発性発しん



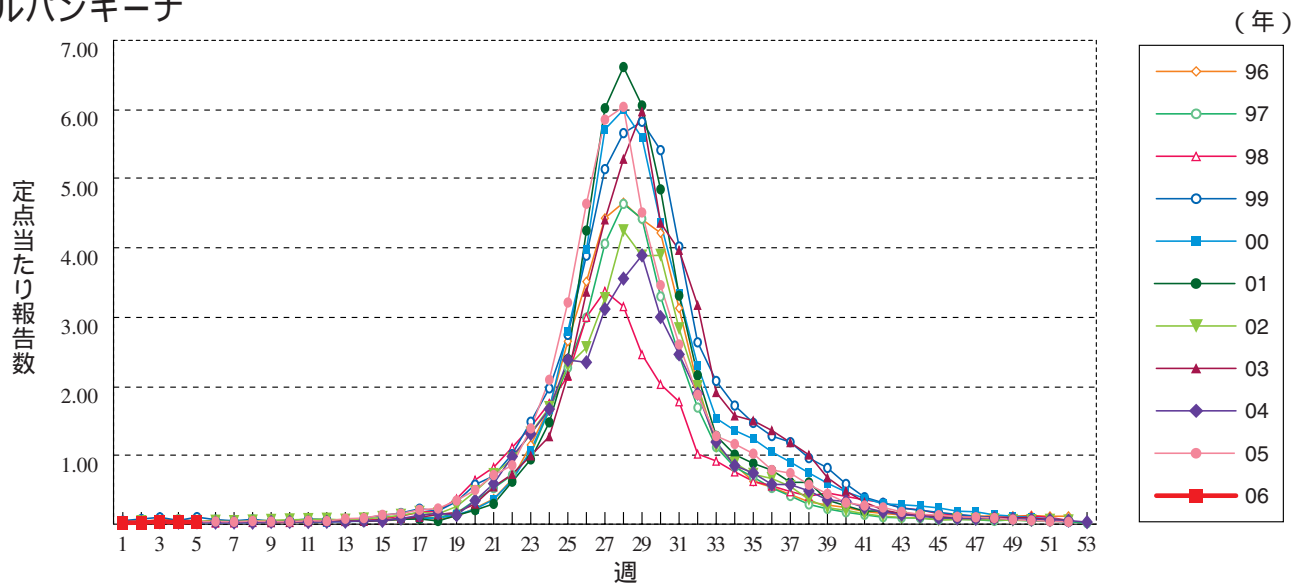
百日咳



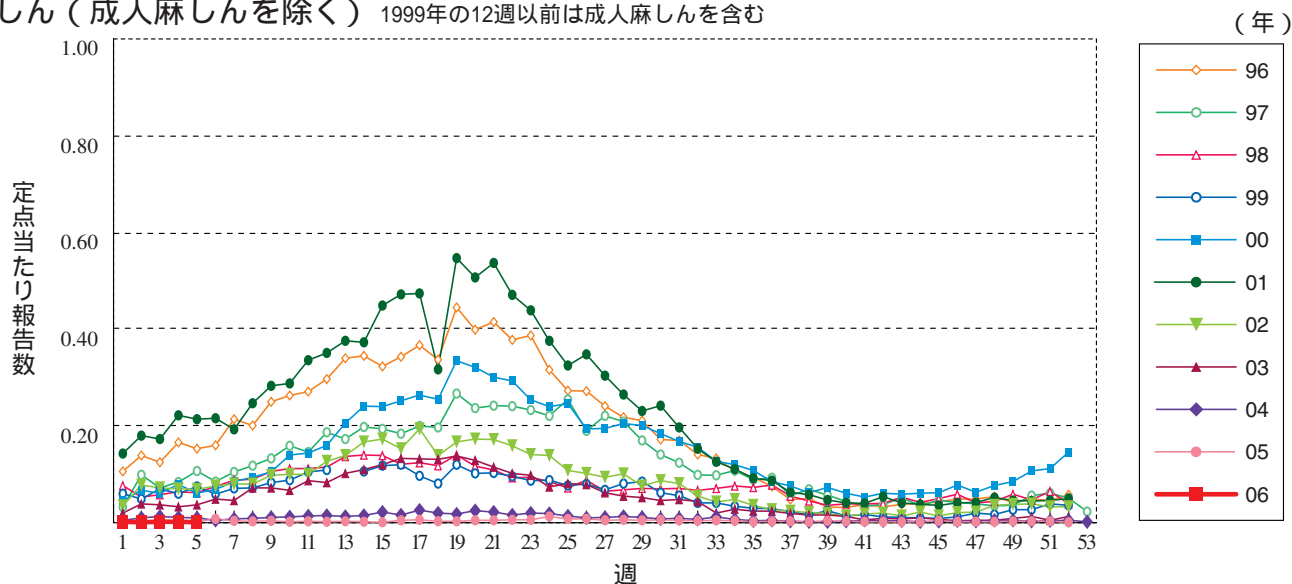
風しん



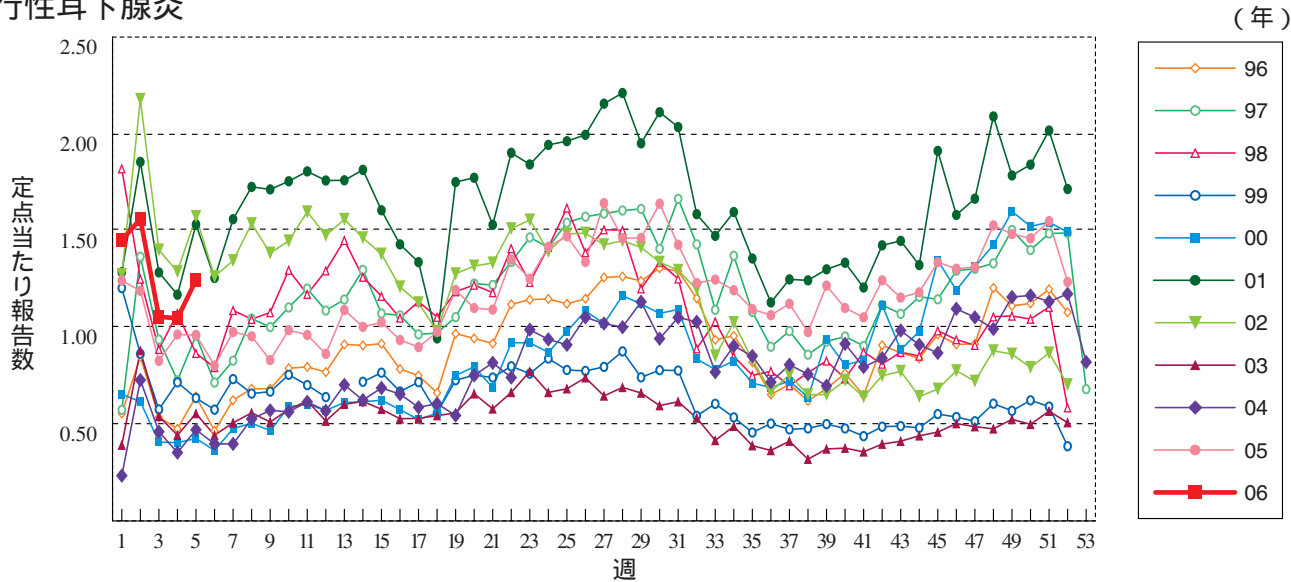
ヘルパンギーナ



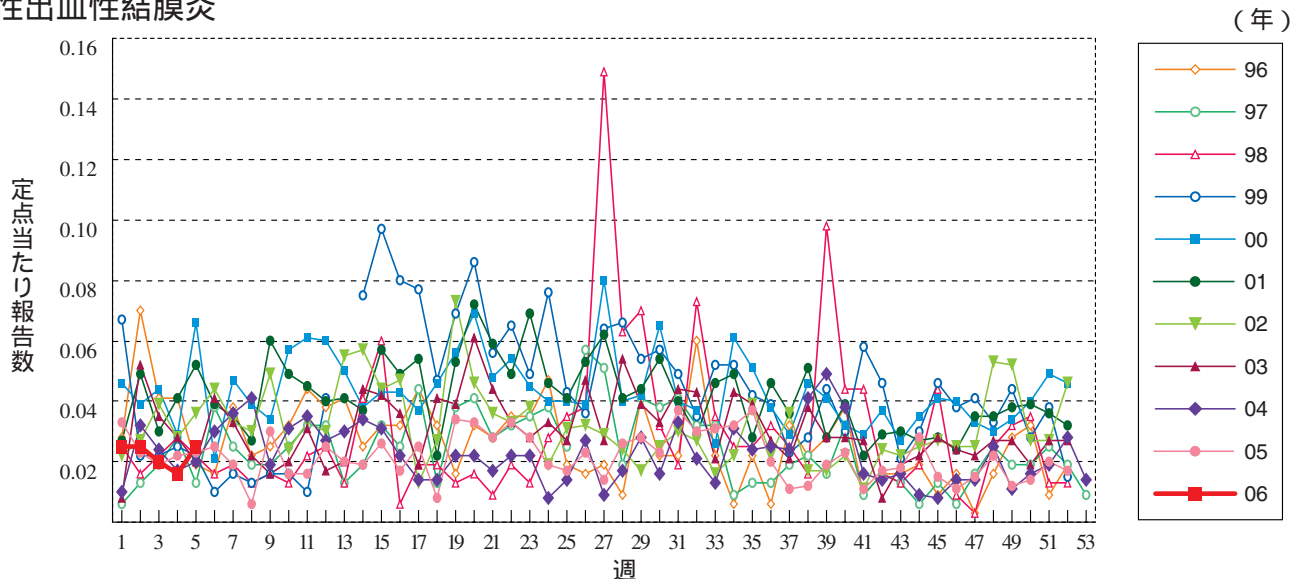
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



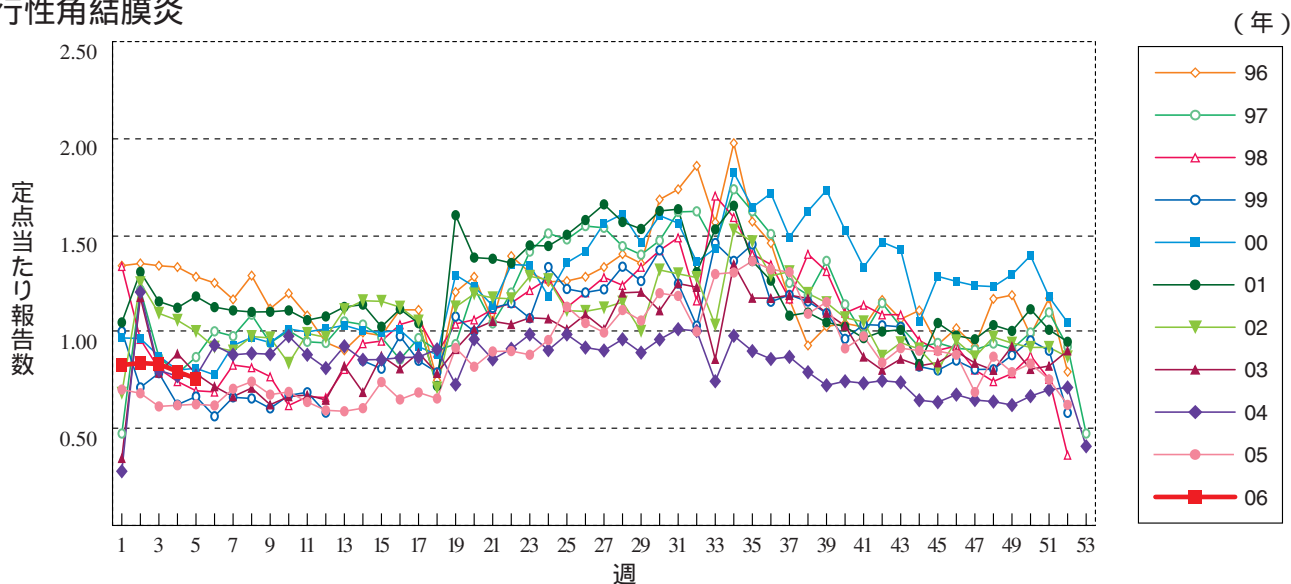
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

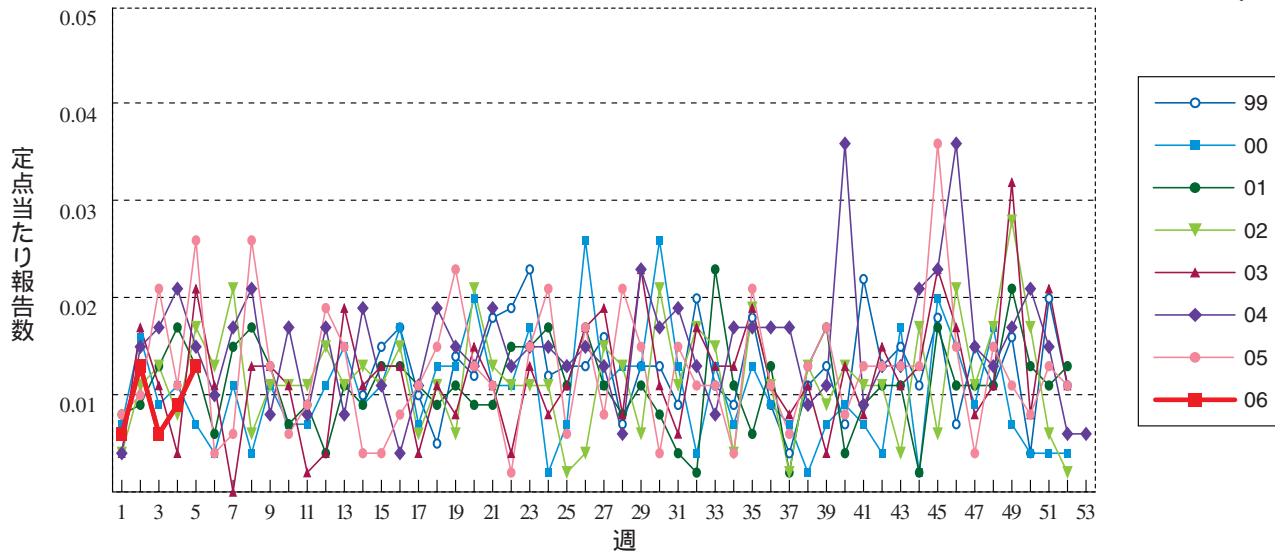


流行性角結膜炎



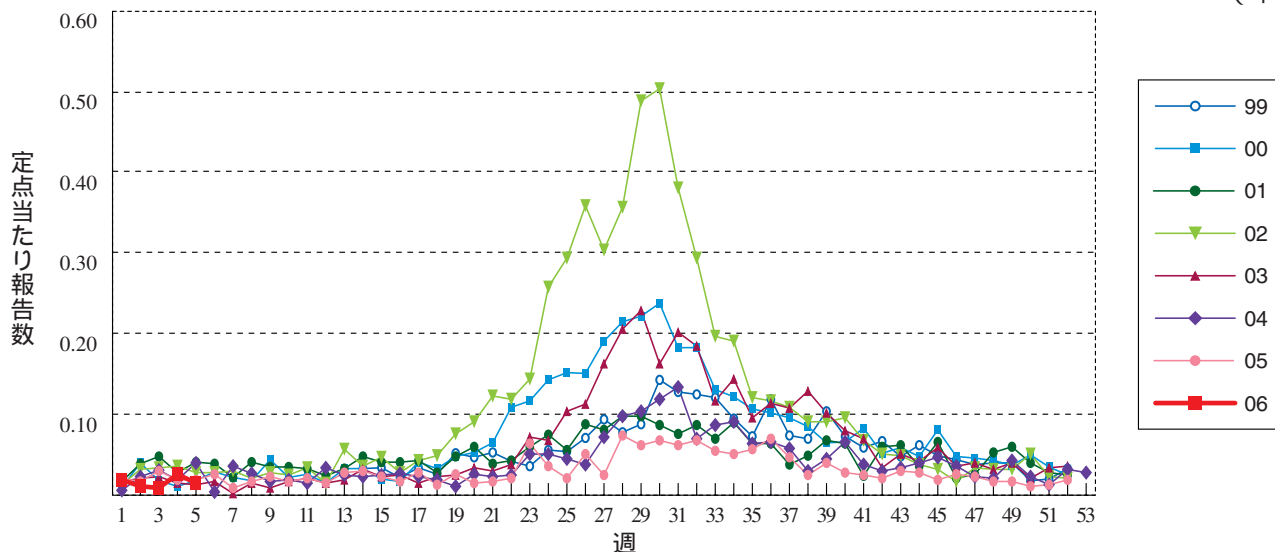
細菌性髄膜炎

(年)



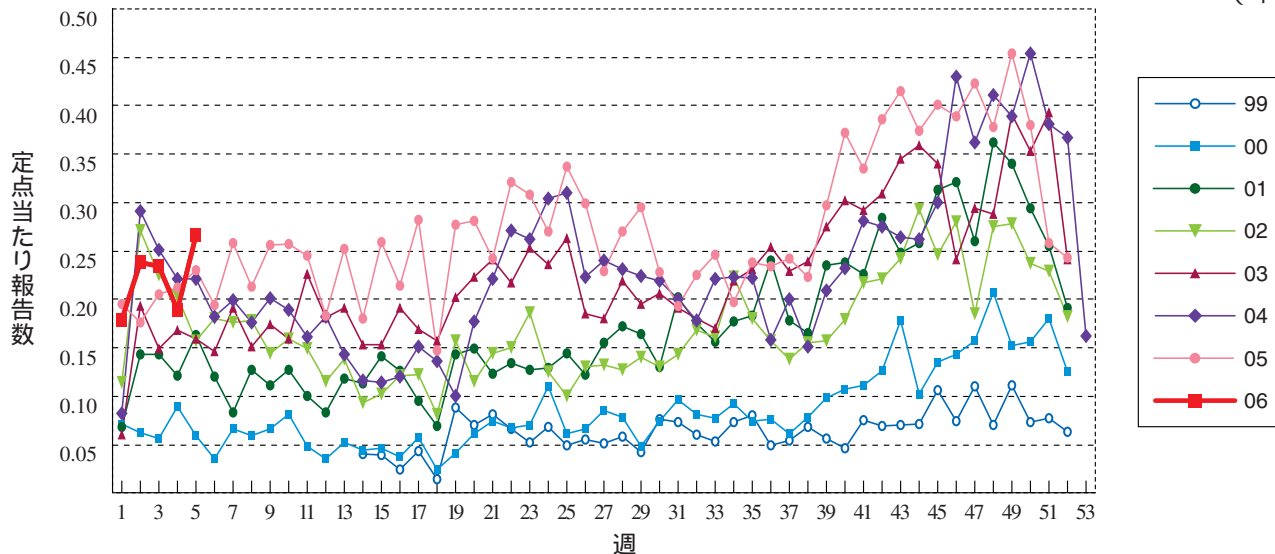
無菌性髄膜炎

(年)



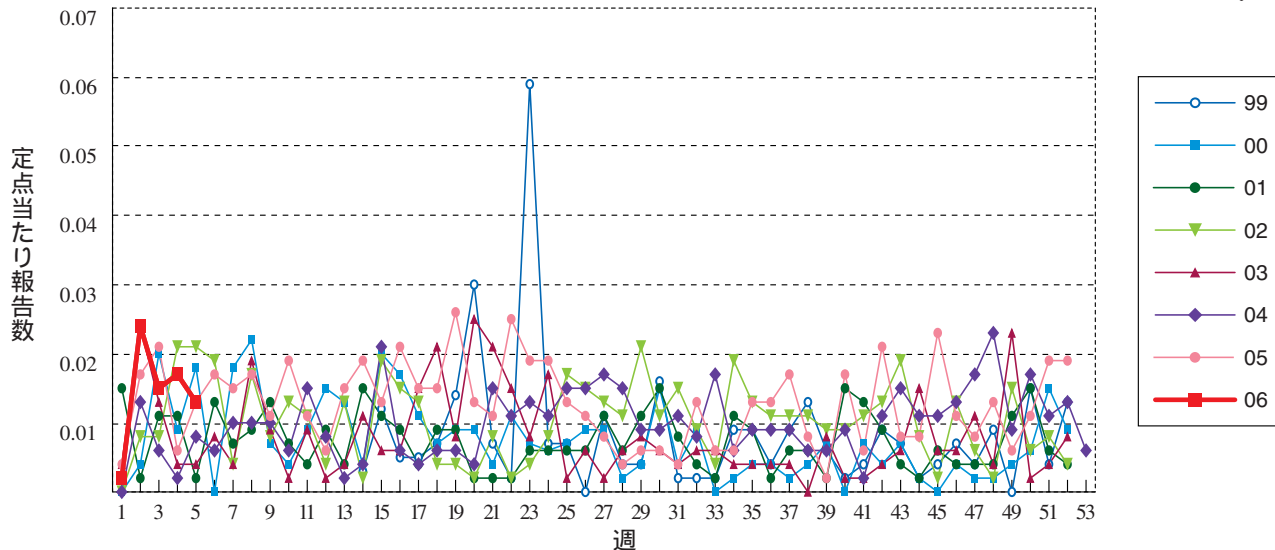
マイコプラズマ肺炎

(年)



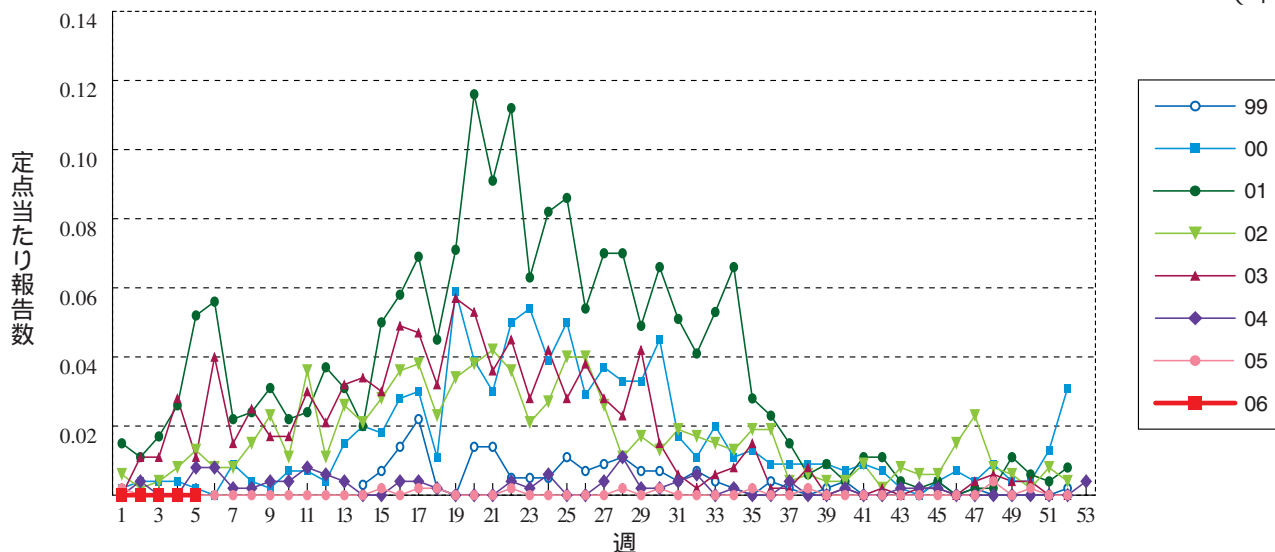
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



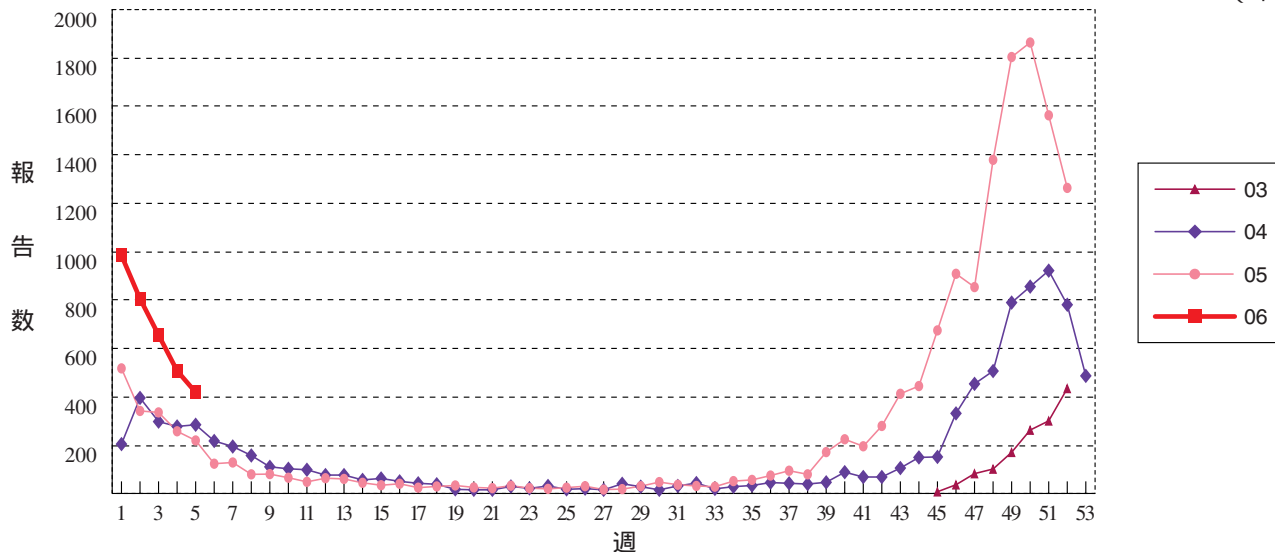
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





5週のデータ

注)表中の報告数は2月9日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成18年5週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	6	37	1	5	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	1	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年5週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	4	45	8	38	-	5	-	-	-	3	-	-	1	20
北海道	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	4	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	4	1	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	1	3	2	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年5週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	1	2	18	1	11	10	75	-	-	-	7	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	3	-	2	2	22	-	-	-	1	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	-	1	-	-	3	8	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年5週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	1	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	5	42	-	2	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年5週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	7	29
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年5週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	6	-	-	6	29	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 平成18年5週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	4	20	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ポツリヌス症」「ポツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成18年5週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	141222	30.09	730	0.24	6209	2.04	26104	8.58	5285	1.74	245	0.08	741	0.24	1547	0.51	14	0.00
北海道	5167	22.56	27	0.18	473	3.24	391	2.68	194	1.33	7	0.05	4	0.03	76	0.52	-	-
青森県	1421	21.86	4	0.09	38	0.88	195	4.53	68	1.58	1	0.02	60	1.40	21	0.49	-	-
岩手県	1015	16.11	1	0.03	53	1.39	222	5.84	60	1.58	3	0.08	6	0.16	12	0.32	-	-
宮城県	2253	24.76	7	0.13	137	2.45	599	10.70	111	1.98	7	0.13	7	0.13	40	0.71	-	-
秋田県	1359	25.17	12	0.35	63	1.85	231	6.79	51	1.50	11	0.32	13	0.38	7	0.21	-	-
山形県	605	12.60	6	0.20	161	5.37	278	9.27	57	1.90	-	-	6	0.20	19	0.63	-	-
福島県	1870	23.38	9	0.19	110	2.29	565	11.77	83	1.73	8	0.17	50	1.04	30	0.63	-	-
茨城県	2713	22.99	8	0.11	217	2.93	444	6.00	104	1.41	1	0.01	21	0.28	16	0.22	-	-
栃木県	2396	34.23	1	0.02	47	1.02	340	7.39	41	0.89	8	0.17	4	0.09	22	0.48	1	0.02
群馬県	3185	32.17	5	0.08	101	1.66	502	8.23	73	1.20	6	0.10	3	0.05	41	0.67	1	0.02
埼玉県	11644	45.13	20	0.12	452	2.79	1659	10.24	241	1.49	6	0.04	39	0.24	98	0.60	-	-
千葉県	8001	37.56	11	0.08	409	3.08	958	7.20	189	1.42	4	0.03	55	0.41	61	0.46	1	0.01
東京都	4598	25.83	29	0.20	315	2.22	1109	7.81	134	0.94	9	0.06	45	0.32	56	0.39	-	-
神奈川県	11690	34.90	42	0.20	471	2.29	1604	7.79	281	1.36	5	0.02	74	0.36	121	0.59	1	0.00
新潟県	1923	19.62	25	0.40	283	4.56	831	13.40	127	2.05	4	0.06	2	0.03	38	0.61	-	-
富山県	1953	40.69	5	0.17	80	2.76	364	12.55	44	1.52	-	-	8	0.28	16	0.55	-	-
石川県	1817	37.85	21	0.72	104	3.59	365	12.59	55	1.90	2	0.07	-	-	9	0.31	-	-
福井県	1592	49.75	18	0.82	77	3.50	336	15.27	48	2.18	1	0.05	1	0.05	11	0.50	-	-
山梨県	459	11.20	-	-	38	1.52	190	7.60	13	0.52	-	-	10	0.40	4	0.16	-	-
長野県	3374	38.34	11	0.20	161	2.93	536	9.75	87	1.58	1	0.02	23	0.42	25	0.45	1	0.02
岐阜県	2823	32.45	39	0.74	70	1.32	246	4.64	54	1.02	7	0.13	7	0.13	27	0.51	-	-
静岡県	5480	40.00	16	0.19	164	1.91	838	9.74	175	2.03	4	0.05	10	0.12	44	0.51	-	-
愛知県	10501	53.85	28	0.15	286	1.57	1509	8.29	253	1.39	37	0.20	21	0.12	99	0.54	2	0.01
三重県	3039	41.63	25	0.56	60	1.33	636	14.13	78	1.73	7	0.16	2	0.04	23	0.51	-	-
滋賀県	1589	31.16	2	0.06	49	1.53	106	3.31	26	0.81	6	0.19	3	0.09	7	0.22	-	-
京都府	2595	21.27	8	0.11	55	0.73	392	5.23	73	0.97	5	0.07	9	0.12	19	0.25	-	-
大阪府	7050	24.48	49	0.25	248	1.25	1319	6.66	321	1.62	14	0.07	12	0.06	91	0.46	1	0.01
兵庫県	6559	33.98	32	0.25	199	1.58	994	7.89	308	2.44	7	0.06	30	0.24	48	0.38	-	-
奈良県	1699	30.89	5	0.14	40	1.14	240	6.86	41	1.17	6	0.17	-	-	13	0.37	1	0.03
和歌山県	1162	23.24	4	0.13	47	1.52	424	13.68	50	1.61	-	-	6	0.19	13	0.42	-	-
鳥取県	912	31.45	1	0.05	62	3.26	216	11.37	57	3.00	2	0.11	20	1.05	2	0.11	-	-
島根県	1282	35.61	21	0.91	25	1.09	210	9.13	39	1.70	4	0.17	30	1.30	14	0.61	-	-
岡山県	891	10.73	7	0.13	52	0.96	502	9.30	81	1.50	1	0.02	6	0.11	20	0.37	-	-
広島県	3294	28.64	23	0.32	108	1.50	883	12.26	138	1.92	2	0.03	20	0.28	36	0.50	-	-
山口県	1806	25.80	9	0.18	103	2.10	718	14.65	187	3.82	1	0.02	7	0.14	37	0.76	-	-
徳島県	1354	35.63	7	0.30	26	1.13	290	12.61	36	1.57	1	0.04	3	0.13	12	0.52	1	0.04
香川県	924	18.12	11	0.34	30	0.94	263	8.22	41	1.28	10	0.31	1	0.03	18	0.56	-	-
愛媛県	2727	44.70	14	0.38	54	1.46	432	11.68	119	3.22	4	0.11	3	0.08	30	0.81	-	-
高知県	784	16.00	8	0.26	11	0.35	258	8.32	74	2.39	1	0.03	-	-	11	0.35	-	-
福岡県	4797	24.23	45	0.38	331	2.76	1247	10.39	369	3.08	10	0.08	41	0.34	97	0.81	1	0.01
佐賀県	1044	26.77	25	1.09	25	1.09	157	6.83	55	2.39	8	0.35	9	0.39	18	0.78	-	-
長崎県	2156	31.71	11	0.25	34	0.77	417	9.48	87	1.98	-	-	6	0.14	11	0.25	-	-
熊本県	1804	22.55	12	0.25	71	1.48	514	10.71	105	2.19	17	0.35	42	0.88	33	0.69	-	-
大分県	1633	28.16	13	0.36	94	2.61	580	16.11	82	2.28	-	-	4	0.11	18	0.50	1	0.03
宮崎県	1448	24.13	15	0.41	89	2.41	535	14.46	148	4.00	2	0.05	2	0.05	45	1.22	1	0.03
鹿児島県	1873	20.14	33	0.59	65	1.16	425	7.59	146	2.61	2	0.04	14	0.25	25	0.45	1	0.02
沖縄県	961	16.57	5	0.15	21	0.62	34	1.00	81	2.38	3	0.09	2	0.06	13	0.38	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成18年5週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	9	0.00	97	0.03	4	0.00	3787	1.24	16	0.02	490	0.76	6	0.01	7	0.02	124	0.27
北海道	-	-	3	0.02	-	-	136	0.93	1	0.03	22	0.73	-	-	-	-	1	0.05
青森県	1	0.02	-	-	-	-	49	1.14	-	-	2	0.18	-	-	-	-	11	1.83
岩手県	-	-	11	0.29	-	-	12	0.32	-	-	8	0.67	-	-	-	-	5	0.25
宮城県	-	-	-	-	-	-	79	1.41	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	5	0.45
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	8	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	-	-	-	-	68	2.27	-	-	2	0.25	-	-	-	-	3	0.30
福島県	-	-	3	0.06	-	-	85	1.77	-	-	11	0.92	-	-	-	-	12	1.71
茨城県	-	-	1	0.01	-	-	112	1.51	-	-	20	1.25	-	-	-	-	10	0.91
栃木県	-	-	2	0.04	-	-	24	0.52	-	-	19	1.58	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	-	-	3	0.05	-	-	77	1.26	-	-	47	3.36	-	-	-	-	6	0.67
埼玉県	1	0.01	11	0.07	-	-	163	1.01	3	0.08	26	0.65	-	-	-	-	5	0.56
千葉県	-	-	3	0.02	-	-	115	0.86	2	0.06	18	0.51	1	0.11	-	-	-	-
東京都	-	-	3	0.02	-	-	101	0.71	-	-	8	0.57	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	0.00	2	0.01	-	-	177	0.86	1	0.02	41	0.98	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	55	0.89	-	-	6	0.60	-	-	-	-	2	0.17
富山県	-	-	3	0.10	-	-	51	1.76	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60
石川県	-	-	2	0.07	-	-	81	2.79	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-	5	0.23	-	-	1	0.33	-	-	1	0.17	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	42	1.68	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.50
長野県	-	-	-	-	-	-	215	3.91	-	-	8	0.67	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	-	-	-	-	34	0.64	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	125	1.45	-	-	5	0.25	1	0.10	-	-	2	0.20
愛知県	-	-	3	0.02	1	0.01	130	0.71	-	-	16	0.46	-	-	2	0.15	2	0.15
三重県	-	-	1	0.02	-	-	50	1.11	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	-	-	18	0.56	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	65	0.87	-	-	5	0.28	-	-	-	-	1	0.14
大阪府	2	0.01	4	0.02	1	0.01	131	0.66	-	-	20	0.38	-	-	2	0.14	15	1.07
兵庫県	-	-	1	0.01	-	-	89	0.71	-	-	23	0.66	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	50	1.43	3	0.33	1	0.11	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	-	-	-	-	61	1.97	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	59	3.11	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-
島根県	1	0.04	2	0.09	-	-	75	3.26	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	1	0.02	-	-	82	1.52	-	-	8	0.67	-	-	-	-	9	1.80
広島県	-	-	1	0.01	-	-	152	2.11	1	0.05	24	1.26	-	-	1	0.05	1	0.05
山口県	-	-	4	0.08	-	-	128	2.61	-	-	9	1.00	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	-	-	-	-	43	1.87	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	39	1.22	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	47	1.27	-	-	20	2.50	-	-	-	-	5	0.83
高知県	1	0.03	2	0.06	-	-	13	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	5	0.04	-	-	109	0.91	-	-	21	0.81	-	-	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	-	-	-	-	12	0.52	-	-	3	0.75	-	-	1	0.17	2	0.33
長崎県	-	-	2	0.05	1	0.02	92	2.09	4	0.50	8	1.00	2	0.17	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	2	0.04	-	-	67	1.40	-	-	25	2.78	1	0.07	-	-	1	0.07
大分県	-	-	11	0.31	-	-	89	2.47	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	-	-	56	1.51	-	-	20	5.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	1	0.02	1	0.02	153	2.73	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	4	0.12	-	-	163	4.79	-	-	7	0.70	-	-	-	-	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成18年5週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	6	0.01	-	-	418
北海道	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	-	-	-	-	5
福島県	5	0.71	-	-	24
茨城県	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	8
埼玉県	1	0.11	-	-	9
千葉県	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	13
神奈川県	-	-	-	-	10
新潟県	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	3
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	10
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	11
滋賀県	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	83
兵庫県	-	-	-	-	39
奈良県	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	5
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	11
広島県	-	-	-	-	30
山口県	-	-	-	-	...
徳島県	-	-	-	-	14
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	8
高知県	-	-	-	-	8
福岡県	-	-	-	-	44
佐賀県	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	5
宮崎県	-	-	-	-	7
鹿児島県	-	-	-	-	10
沖縄県	-	-	-	-	6

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年5週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第8巻 第5号 平成18年2月17日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。